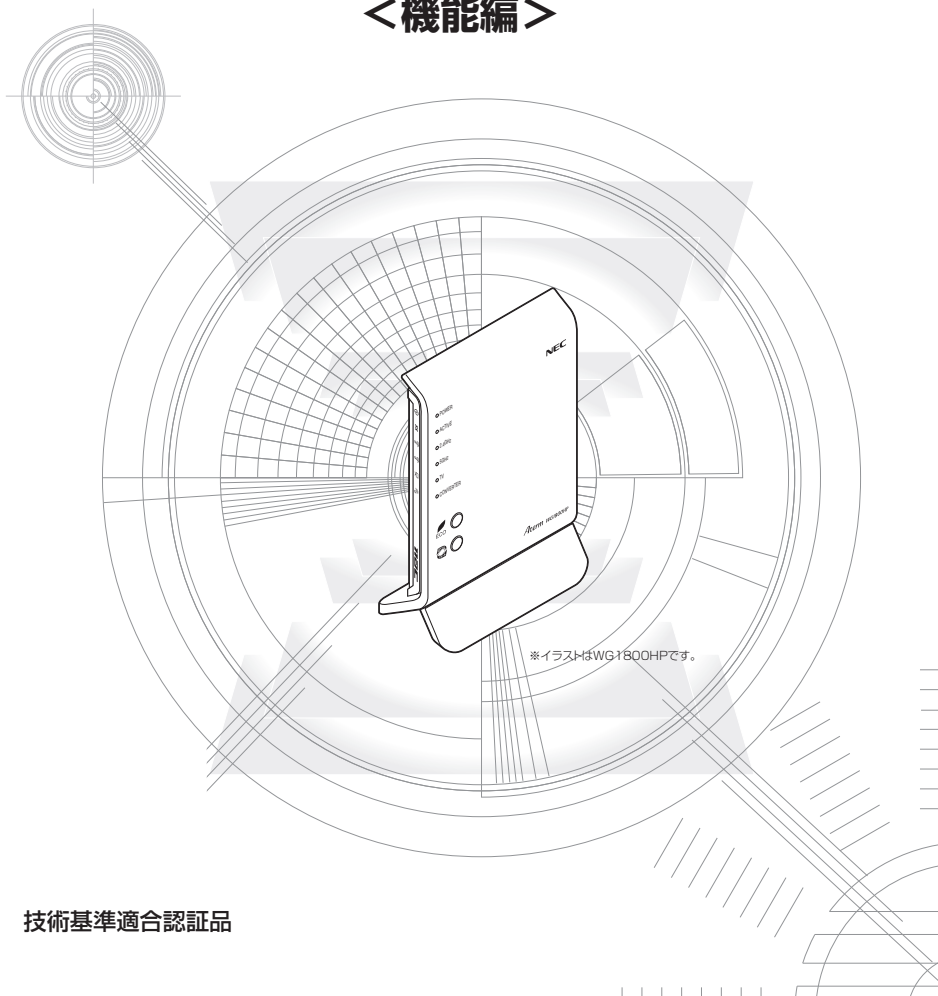


Aterm® WG1800HP/WG1400HP

取扱説明書

第2版

<機能編>



はじめに

この度は Aterm（エーターム）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

AtermWG1800HP/WG1400HP（以下、親機と呼びます）は、Draft IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b の無線 LAN 規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。また、Wi-Fi 通信の子機としてご使用いただくこともできます。

本商品のマニュアルでは、本商品の設置・接続のしかたからさまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書＜基本編＞（冊子）

本商品の設置・接続までに必要な基本事項についての説明書です。



取扱説明書＜機能編＞（本書）

本商品の機能についての説明書です。



機能詳細ガイド（HTMLファイル）

取扱説明書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

「機能詳細ガイド」は Web サイトに掲載されています。
AtermStation(<http://121ware.com/aterm/>)より、[サポートデスク]－[機能詳細ガイド]を選択してください。



お知らせ

●本文中の参照先が「(●＜基本編＞PX-X)」となっている場合は、「取扱説明書＜基本編＞」(冊子)を参照してください。

- Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタート、らくらくネットスタートは、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。
- Windows、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista はオペレーティングシステムです。
- Mac OS、OS X、AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「PlayStation」、 「プレイステーション」 および 「PSP」 は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。「PS Vita」 は同社の商標です。また、「プレイステーション 3」、「PSP[®]「プレイステーション・ポータブル」」 および 「PlayStation[®]Vita」 は同社の商品です。

©Sony Computer Entertainment Inc.

- Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。
- Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「お名前 .com[®]」 は、GMO インターネット株式会社の登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2013-2014

NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

目次

目次	4
「㊟機能詳細ガイド」目次	6
本商品でできること	7
1 章 セキュリティ対策をする	
1-1 セキュリティ機能について	1-2
1-2 悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を設定する	1-9
悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能の設定	1-10
ブロックレベルカスタム設定	1-15
例外サイトを登録する	1-16
ブロック画面の一時解除方法	1-17
2 章 便利な機能	
2-1 Wi-Fi 高速中継機モードで使用する（WG1800HP のみ）	2-2
2-2 USB ポートのご利用について	2-3
USB デバイスを取り付けるとき	2-3
アクセス方法	2-4
アクセス権限を設定する	2-5
メディアサーバ機能を利用してコンテンツを視聴する	2-7
USB ファイル HTTP 公開機能（ブラウザファイル共有機能）	2-9
USB カメラ機能	2-12
USB デバイスを取り外すとき	2-15
2-3 ECO モードにする	2-16
ECO モードでの制限内容（ECO 設定パターン）	2-16
ECO モードを起動する	2-17
ECO モード起動中のランプ状態	2-17
オート ECO モード機能	2-19
2-4 その他の機能	2-20
複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）	2-20
PPPoE ブリッジ機能	2-21
IPv6 ブリッジ機能	2-22
DMZ ホスト機能	2-22
VPN パススルー機能	2-23
IP パケットフィルタリング	2-23
ポートマッピング	2-23
UPnP 機能	2-23
ダイナミック DNS 機能	2-24
LAN 側ジャンボフレーム透過機能	2-25
3 章 トラブルシューティング	
3-1 トラブルシューティング	3-2

4 章 付録

4-1	マニュアルで使用する用語について	4-2
4-2	別売りオプション	4-4
4-3	索引	4-5

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」は、Web サイトにて掲載されています。掲載されている項目は、下記のとおりです。(2013 年 2 月現在)

機能詳細ガイド : AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) より、[サポートデスク] - [機能詳細ガイド] を選択してください。

〈親機としてご利用の場合〉

機能一覧 (下記)

クイック設定 Web の使い方

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能
ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション)
DNS ルーティング
ダイナミックポートコントロール (SPI)
DNS フォワーディング
不正アクセス検出機能
通信情報ログ (アクセスログ機能)
UPnP 機能

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)
静的ルーティング
IP パケットフィルタリング
DHCP サーバ機能
ダイナミック DNS 機能
悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能
ブリッジモード (ルータ機能を停止する)
DMZ ホスト機能

■WAN 側機能■

らくらくネットスタート機能
IPv6 トンネル対応アダプタ機能
PPPoE マルチセッション
PPP キーペアライブ

PPPoE ブリッジ
IPv6 ブリッジ機能
VPN パススルー機能

■パソコンインタフェース■

1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Te スイッチング HUB (4 ポート)

■Wi-Fi 機能■

Draft IEEE802.11ac 通信
クワッドチャネル
IEEE802.11a 通信
IEEE802.11b 通信
MAC アドレスフィルタリング機能
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)
ネットワーク分離機能
らくらく無線スタート機能
らくらく QR スタート機能
強制ブリッジ (BR) モード
ストリーミングモード

IEEE802.11n 通信
デュアルチャネル
IEEE802.11g 通信
暗号化
ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能
マルチ SSID
オートチャネルセレクト
らくらく無線スタート EX 機能
WPS 機能
TV モード

■その他の機能■

管理者パスワードの変更
通信確認 (疎通確認テスト)
LAN 側ジャンプフレーム透過機能
USB ポート
USB ファイル HTTP 公開機能
ECO モード
ホーム IP ロケーション機能

時刻設定
情報表示 (装置情報、状態表示)
省電力型イーサネット (EEE) 機能
メディアサーバ機能
USB カメラ機能
WoL 機能
ファームウェアの更新

〈子機としてご利用の場合〉

〈Wi-Fi 高速中継機としてご利用の場合〉

〈Wi-Fi 機能の使い方〉

子機の使い方

Wi-Fi セキュリティ

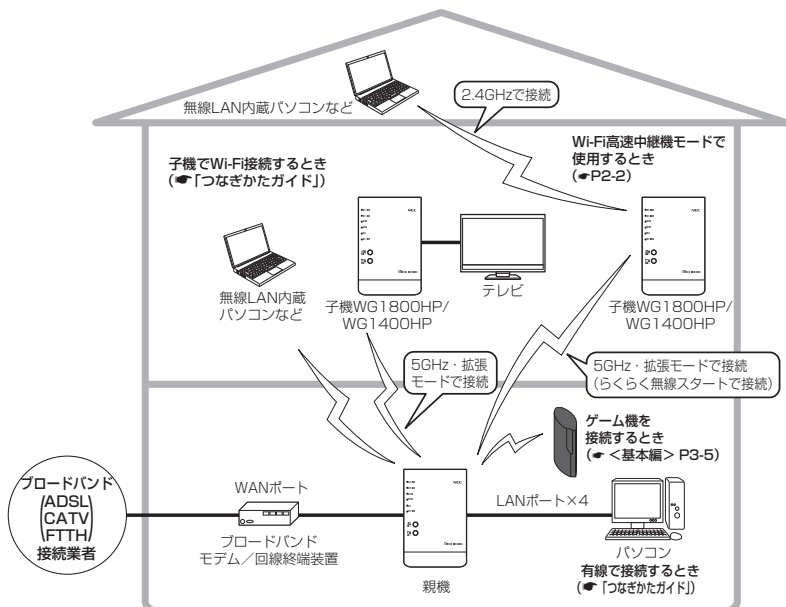
〈高度な使い方〉

外部にサーバを公開する
ファイルとプリンタの共有

ネットワーク対応アプリケーション
宅内 LAN のパソコンをリモートで起動する

本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／CATV ケーブルモデム／FTTH 回線終端装置に接続して、複数の機器で同時にインターネットを利用できるブロードバンドルータです。また、本商品は、親機としても子機としてもご使用になることができます。（☛＜基本編＞P24）



子機から Wi-Fi 接続する場合の設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

本商品では、さらに「機能詳細ガイド」(☛P2) で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

■ 動作モード設定

本商品は、親機としても子機としてもご使用になることができます。(● <基本編> P24)

親機としてご使用になる場合は、ルータ機能を使用する動作モード (PPPoE ルータモードまたはローカルルータモード) と、ルータ機能を停止して使用する動作モード (ブリッジモード) があり、インターネットに接続するためには、この動作モードを設定する必要があります。(● <基本編> P2-2)

子機 (イーサネットコンバータ) としてご使用になる場合は、子機 (CONVERTER) モードに設定します。(● <基本編> P26)

■ Wi-Fi 通信

- 親機では、Draft IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b に対応した子機と Wi-Fi 通信を行うことができます。

※ 子機は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。

- W52 帯、W53 帯、W56 帯対応

親機は 5GHz 帯 (W52、W53、W56) に対応しており、5GHz 帯で 19 チャンネルがご利用になれます。

タイプ	チャンネル	周波数帯域
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz 帯 (5,150-5,250MHz)
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz 帯 (5,250-5,350MHz)
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz 帯 (5,470-5,725MHz)

ただし、W52 帯、W53 帯、W56 帯でご利用になるには、ご利用の子機が W52 帯、W53 帯、W56 帯に対応している必要があります。

従来の J52 帯を使用する子機とは通信できません。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

Aterm シリーズ子機のバージョンアップ対応機種などの最新情報は、別紙に示すお問い合わせ先のホームページなどでご確認ください。

親機	子機	子機 WG1800HP/ WG1400HP (W52,W53,W56)
	IEEE802.11a(J52) 対応子機	
WG1800HP/WG1400HP (W52,W53,W56)	×	◎
IEEE802.11a (J52) 対応親機	△	×
IEEE802.11a (W52,W53) 対応親機	×	○

◎ : W52 帯 (5,150-5,250MHz)、W53 帯 (5,250-5,350MHz)、W56 帯 (5,470-5,725MHz) を使用して、最大 19 チャンネルから選択が可能です。

○ : W52 帯 (5,150-5,250MHz)、W53 帯 (5,250-5,350MHz) を使用して、最大 8 チャンネルから選択が可能です。

△ : J52 帯 (5,150-5,250MHz) を使用して、最大 4 チャンネルから選択が可能です。

× : 利用不可。

■ Wi-Fi 通信

- **親機**では、5GHz 通信 (Draft IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a) と 2.4GHz 通信 (IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b) を同時に利用できます。

2 台の子機で、5GHz (Draft IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a) と 2.4GHz (IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b) のそれぞれの Wi-Fi 通信モードを占有して通信をしたり、電波状態の良い Wi-Fi 通信モードで通信したりすることができます。

また Wi-Fi 通信モードごとに電波出力、ネットワーク名 (SSID)、暗号化キー、ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)、MAC アドレスフィルタリングの設定をすることができます。

※子機から 5GHz モードに Wi-Fi 接続する際は、5GHz のネットワーク名 (SSID) を選択してください。

なお、「らくらく無線スタート」での Wi-Fi 設定は、工場出荷時の状態では、2.4GHz モードに設定されています。

「らくらく無線スタート」で 5GHz モードの Wi-Fi 設定を行う場合は、クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」→「Wi-Fi 基本設定」で「Wi-Fi 自動設定動作モード」を「5GHz」に変更してから、接続設定してください。

(ただし、子機 WG1800HP/WG1400HP、子機 WR9500N、WL300NE-AG の場合は、工場出荷時の状態であれば、5GHz に優先的に接続できます。)

● デュアルチャネル機能

親機では、Wi-Fi 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、約 2 倍の通信速度を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は「使用する (自動切替)」)

本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯 (計 13 チャネル) です。(㊟機能詳細ガイド)

● クワッドチャネル機能

親機では、Wi-Fi 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz 幅から 80MHz 幅に拡大することにより、約 4 倍の通信速度を実現するクワッドチャネル通信機能を搭載しています。(初期値は「使用する」) 本商品でクワッドチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、Draft IEEE802.11ac の 5GHz 帯のみです。(㊟機能詳細ガイド)

● オートチャネルセレクト機能

親機の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz 帯および 5GHz 帯のそれぞれで電波状態の良いチャネルを自動選択します。(初期値は「使用する」) (㊟機能詳細ガイド)

5GHz 帯では、工場出荷時状態は W52 のみサーチするように設定されていますが、クイック設定 Web で設定することにより、W53、W56 もサーチ対象帯域に加え、最大 19 チャネルから自動選択させることが可能です。

※デュアルチャネル有効設定時は、2.4GHz 帯 (計 11 チャネル) から選択されます。

※クワッドチャネル有効設定時は、5GHz 帯の W52 (1 チャネル)、W53 (1 チャネル)、W56 (計 2 チャネル) から選択されます。

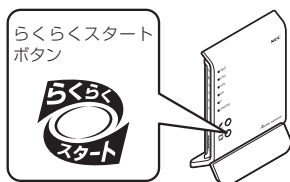
対象となる周波数帯域を指定したい場合は、あらかじめサーチ対象帯域を指定してください。

※ Wi-Fi ネットワーク内に 5GHz 帯の W53、W56 が利用できない子機が 1 台でもある場合は、サーチ対象帯域に W53、W56 を加えないようご注意ください。

■ Wi-Fi を簡単に設定する

● らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX とは、親機にあるらくらくスタートボタンの操作で、Wi-Fi の接続設定 (SSID・暗号化キーなどの設定) を簡単に行える機能です。(☛ <基本編> P3-11、
「つなぎかたガイド」)



● WPS (Wi-Fi Protected Setup)

WPS に対応した Wi-Fi の自動設定を行うことができます。(☛ <基本編> P3-12) 設定方法には、らくらくスタートボタンによる設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、子機側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した Wi-Fi の接続・セキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

■ マルチ SSID 機能

親機には、3 つのネットワーク「オーナー SSID」「ゲスト SSID」「WEP 専用 SSID」があり、それぞれに異なる設定 (セキュリティなど) を行うことができます。(☛ <基本編> P3-3、☺機能詳細ガイド)

また、これらの SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な子機と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な子機が共存可能です。

通常は、「オーナー SSID」に接続してください。

■ 子機の増設

● 子機を増設する (☺機能詳細ガイド)

子機として別売りの次の機器を増設できます。

※接続する子機によって通信速度が異なります。

< Draft IEEE802.11ac、IEEE802.11n/a/g/b 通信 >

WG1800HP (※) / WG1400HP (※)

< IEEE802.11n/a/g/b 通信 >

WL450NU-AG / WL300NU-AG / WR9500N (※) / WL300NE-AG

< IEEE802.11n/g/b 通信 >

WL300NU-GS

(※) 子機 (CONVERTER) モードまたは無線 LAN 子機 (CONVERTER) モードでご使用ください。

● 無線 LAN 内蔵パソコンを接続する

親機が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。(パソコンの機種により、機能制限や接続できない場合があります。)

● ゲーム機を Wi-Fi 接続する

Wii、ニンテンドー 3DS、「プレイステーション 3」、PlayStation®Vita および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。(☛ <基本編> P3-5)

■ セキュリティ対策をする

親機には、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、Wi-Fi ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないための「Wi-Fi セキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティ対策を行うことができます。(●P1-2、㊟機能詳細ガイド)

■ ネットワーク分離機能

マルチ SSID (●<基本編> P3-3) のそれぞれのネットワークに接続した子機や、有線で接続されたパソコンへのアクセスを制限し、親機に接続した他のネットワークから分離することができます。(●P1-8)

なお、WAN 側が分離されることはありません。

■ 悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能

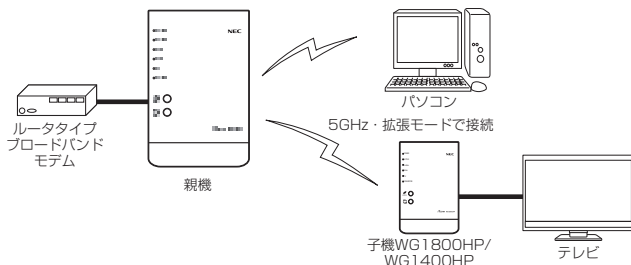
悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能は、ネットスター株式会社の提供する「インターネット悪質サイトブロック ファミリースマイル」に対応する機能です。ネットスター株式会社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末にブロックレベルを設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。(●P1-9)

■ Wi-Fi 高速中継機モードで使用する (WG1800HP のみ)

WG1800HP は、親機と子機の間で電波を中継 (リレー) する中継機としても使用できます。親機と子機の通信できる距離がさらに広がります。(●P2-2)

■ TV モードに対応

親機に Wi-Fi 接続したパソコンや TV で、安定したストリーミング画像を視聴することができます。(㊟機能詳細ガイド)

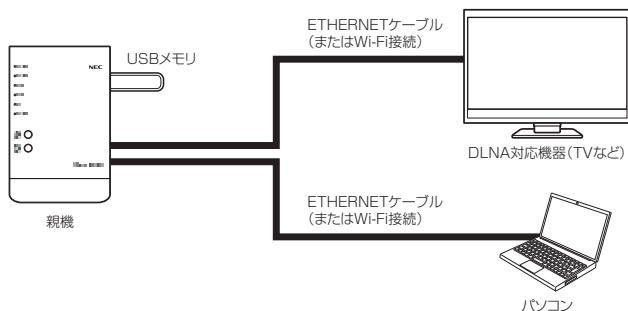


■ USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルを共有する

親機の USB ポートでは、接続した USB デバイスに親機の LAN 側や WAN 側からアクセスして、ファイルを共有することができます。また、USB ポートに USB カメラを接続すれば、WAN 側から WWW ブラウザで画像を表示することができます。(●P2-3)

●メディアサーバ機能

親機の USB ポートに接続した USB メモリや外付けハードディスクに保存されたコンテンツを、親機の LAN 側に接続した DLNA 対応機器で視聴することができます。(●P2-7、📺機能詳細ガイド)



●USB ファイル HTTP 公開機能 (ブラウザファイル共有機能)

親機に接続した USB デバイスのファイルをパソコンなどの WWW ブラウザで開くことができます。(●P2-9、📺機能詳細ガイド)

●USB カメラ機能

親機の USB ポートに接続した USB カメラの画像を WWW ブラウザで表示することができます。(●P2-12、📺機能詳細ガイド)

■ECO モード

●ECO モードに設定する (●P2-16)

親機の一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。

●LAN ポート自動節電機能

未使用の LAN ポートを自動判別して、消費電力を削減します。

●省電力型イーサネット (EEE) 機能

IEEE802.3az Energy Efficient Ethernet 準拠の省エネ機能です。イーサネット (LAN 通信) のデータの送受信がないアイドル (待機) 状態のときに、自動的に低消費電力モードになります。

設定は、クイック設定 Web の「ECO モード設定」－【ECO モード設定】の【省電力型イーサネット (EEE) 機能】で行います。(初期値：「使用しない」)

※ 本機能を使用する場合は、通信する対向機もこの機能に対応している必要があります。

■ IPv6 トンネル対応アダプタ機能

IPv6 トンネル対応アダプタ機能では、PPPoE を利用し、ISP (Internet Services Provider) と IPv6 による通信を行うことができます。ISP から ISP 接続用の IPv6 プレフィックス (IPv6 アドレスの前半部分)、NTT 東西から NGN 接続用の IPv6 プレフィックスが割り当てられるため、本商品配下の端末は、「ISP 接続」、および「NGN 接続」それぞれに対して通信できます。(☎機能詳細ガイド)

※ ISP やご契約内容によっては、ご利用いただけない場合があります。

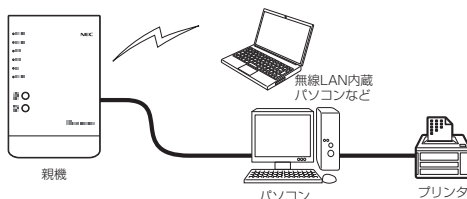
■ WoL (Wake on LAN) 機能

外出先など離れている場所からインターネット経由で、親機の LAN ポートに接続したパソコンの電源を起動することができます。(☎機能詳細ガイド)

※ご利用のパソコンが WoL 機能 (AMD Magic Packet Format) に対応している必要があります。

■ ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

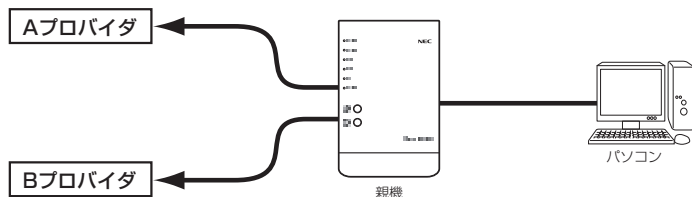
(☎機能詳細ガイド)



※本商品の機能ではありません。Windows の共有機能の設定になります。

■ 複数のアクセス先 (プロバイダ) を設定する

クイック設定 Web で複数の接続先を登録できます。



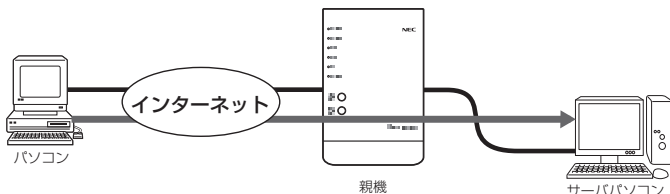
● PPPoE マルチセッション (P2-20)

1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行うことができます。

(本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。)

■ SOHO で使用するとき便利な機能

- ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する (㊟機能詳細ガイド) ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション)、DMZ ホスト機能を利用して外部にサーバを公開できます。



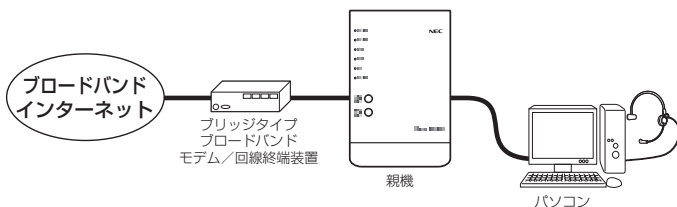
- 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する (VPN (PPTP/IPsec) パススルー機能) (㊟P2-23、㊟機能詳細ガイド) VPN (Virtual Private Network: 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。

■ パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

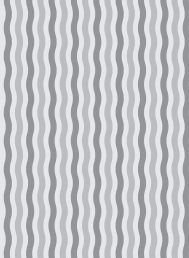
- ・ PPPoE ブリッジ機能 (㊟P2-21)
- ・ IPv6 ブリッジ機能 (㊟P2-22)
- ・ ポートマッピングの設定 (㊟P2-23)

また、UPnP 機能を使用して TV 電話などをご利用になれます。(㊟P2-23)



■ インターネットの通信を切断する

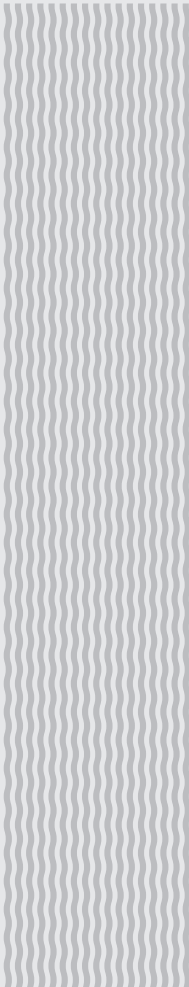
PPPoE ルータモードの場合 (㊟＜基本編＞ P24) は、クイック設定 Web の「情報」－ [現在の状態] で切断できます。(自動で再接続を行います。)(㊟機能詳細ガイド)



1

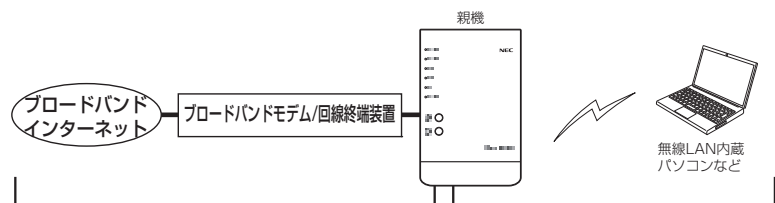
セキュリティ対策をする

1

- 
- 1-1 セキュリティ機能について……………1-2
 - 1-2 悪質サイトブロック（ファミリースマイル）
機能を設定する……………1-9

親機には、ブロードバンド（ADSL／CATV／FTTH 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、Wi-Fi ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されたりしないための「Wi-Fi セキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「機能詳細ガイド」(P2) を参照してください。



WAN回線側セキュリティ機能

- ・ IPパケットフィルタリング
- ・ アドバンスドNAT (IPマスカレード/NAPT)
- ・ 不正アクセス検出機能
- ・ ダイナミックポートコントロール (SPI)
- ・ 悪質サイトブロック (ファミリースマイル) 機能 (P1-9)

Wi-Fiセキュリティ機能

- ・ 暗号化 (P1-4)
- ・ ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) (P1-5)
- ・ MAC アドレスフィルタリング機能 (P1-6)
- ・ ネットワーク分離機能 (P1-8)

① セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることもあります。

特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。

本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。

また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。

- Wi-Fi 機器では、Wi-Fi のセキュリティを行うことをお勧めします。Wi-Fi のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの Wi-Fi ネットワークに入り込まれる危険性があります。

Wi-Fi ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などをされることがあります。(● <基本編> P17)

なお、本商品は工場出荷時の状態で Wi-Fi のセキュリティが設定済みです。必要に応じてより強固なセキュリティに変更することができます。

暗号化

親機で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した子機のみ Wi-Fi 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

<暗号化方式について>

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)**
IEEE802.11 で定められた暗号化方式。
- **TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)**
Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2) に採用の暗号化方式。
パケットごとに暗号化キー (WEP) を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。
- **AES (Advanced Encryption Standard)**
米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式。
TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず親機と子機で同じ設定にしてください。
- 複数の子機を使用する場合、すべての子機に親機と同じ暗号化キーを設定してください。
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した子機が必要です。
- 親機を初期化した場合は、Wi-Fi 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。



お知らせ

- 親機では、工場出荷時の状態で、オーナー SSID / ゲスト SSID のネットワークに AES の暗号化が設定されています。
Wi-Fi 設定内容（初期値）は、本体側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」を参照してください。ラベルには、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効にする必要があります。

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）

Wi-Fi 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID と呼びます。）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと Wi-Fi 通信ができません。

一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に回答しないようにすることができます。（🔒機能詳細ガイド）

※本商品独自の機能です。Aterm 以外の子機では、接続できない場合があります。

1

セキュリティ対策をする



お知らせ

- ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）の設定は、ネットワーク名（SSID）ごとに設定できます。クイック設定 Web の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で設定してください。（🔒機能詳細ガイド）

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された子機とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない子機から LAN やインターネットへ接続されることを防止できます。(④機能詳細ガイド)

※ MAC アドレスフィルタリングで登録できる MAC アドレスは 5GHz モードと 2.4GHz モードで共通です。また、MAC アドレスフィルタリング機能を使用するかどうかはネットワーク名 (SSID) ごとに設定できます。(④機能詳細ガイド)

❗ 子機が WG1800HP/WG1400HP/WR9500N^(※1) または WL300NE-AG の場合

親機で MAC アドレスによる接続制限 (MAC アドレスフィルタリング) を行う場合、子機 (WG1800HP/WG1400HP/WR9500N^(※1) または WL300NE-AG) の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

(※1) 子機 (CONVERTER) モードまたは無線 LAN 子機 (CONVERTER) モードに設定した WG1800HP/WG1400HP/WR9500N。

(※2) 子機の Wi-Fi (無線) の MAC アドレスは、下記を確認してください。

<子機 WG1800HP/WG1400HP の場合>

クイック設定 Web (●<基本編>P3-47) の「情報」-「現在の状態」にある「MAC アドレス (Wi-Fi)」。

<子機 WR9500N の場合>

ご利用の無線周波数 (5GHz/2.4GHz) によらず、子機 WR9500N の側面ラベルに記載されている「無線 (2.4G)」の MAC アドレス。

<WL300NE-AG の場合>

WL300NE-AG の底面ラベルに記載されている無線の MAC アドレス。

<子機 (WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG) の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合>

子機の Wi-Fi (無線) の MAC アドレス^(※2) を登録することで Wi-Fi 接続する他の子機を制限できます。

<子機 (WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG) の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合>

子機の Wi-Fi (無線) の MAC アドレス^(※2) と、子機に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→ 子機では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、子機に接続しているすべての端末が Wi-Fi 接続できなくなります。(子機の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、Wi-Fi 接続できなくなります。)

なお、すでに親機に接続している子機に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できなくなります。



お知らせ

- WG1800HP/WR9500N が Wi-Fi 高速中継機モード（無線 LAN 中継機モード）の場合は（➡P2-2）、MAC アドレスフィルタリング機能はご使用になれません。
- 親機側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合に、子機 WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG の無線クライアントモード（初期値：「拡張モード」）を「MAC クローンモード」にして利用するには、下記の手順で設定してください。
- ①親機に Wi-Fi 接続する
 - ※ 子機 WG1800HP/WG1400HP は、＜基本編＞ P3-49 を参照してください。
 - ※ 子機 WR9500N は、子機 WR9500N に添付の取扱説明書を参照し、クイック設定 Web にて Wi-Fi 接続してください。
 - ※ WL300NE-AG は、WL300NE-AG に添付の取扱説明書を参照してください。
- ②親機側のクイック設定 Web の「MAC アドレスフィルタリング」の設定で、子機 WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG に接続するすべてのパソコンやゲーム機などの MAC アドレスを登録する。
- ③親機側のクイック設定 Web で「MAC アドレスフィルタリング機能」を「使用する」に設定する。
- ④子機 WG1800HP/WG1400HP/WR9500N または WL300NE-AG のクイック設定 Web の「詳細設定」で「無線クライアントモード」を「MAC クローンモード」に変更する。
 - ※ 子機 WG1800HP/WR9500N で「無線クライアントモード」がグレーアウトして設定できない場合は、[基本設定] で「Wi-Fi 高速中継機モード」（WR9500N の場合は「無線 LAN 中継機モード」）の「使用する」のチェックを外して [設定] をクリックしたうえで、「MAC クローンモード」に変更してください。

ネットワーク分離機能

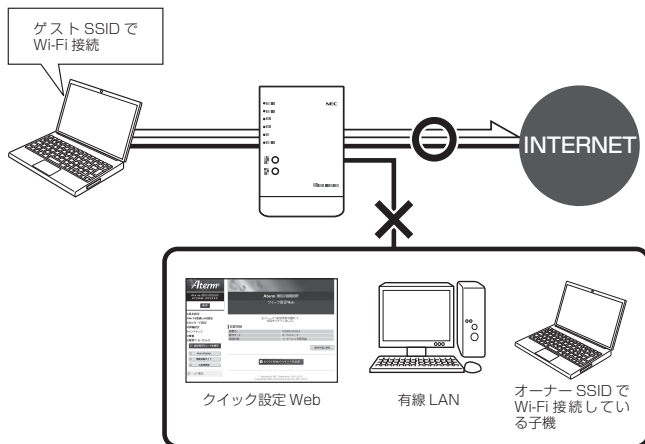
マルチ SSID (➡ <基本編> P3-3) のそれぞれのネットワーク (オーナー SSID / ゲスト SSID / WEP 専用 SSID) に接続した子機や、有線で接続されたパソコンへのアクセスを制限し、親機に接続した他のネットワークから分離することができます。なお、WAN 側が分離されることはありません。

設定は、クイック設定 Web で行います。(🔗機能詳細ガイド)

(初期値:オーナー SSID は「使用しない」、ゲスト SSID / WEP 専用 SSID (※) は「使用する」)

(※) WEP 専用 SSID は、「使用する」から設定変更できません。

<ゲスト SSID を「使用する」に設定した場合の例>



「使用する」に設定したネットワークに接続した子機では、以下の制限があります。

- ・ クイック設定 Web に接続できない。
- ・ 親機に有線で接続された端末に接続できない。
- ・ 親機に他のネットワーク名 (SSID) で Wi-Fi 接続された端末に接続できない。

※ インターネットや同一のネットワークに Wi-Fi 接続された端末との通信は可能です。

🔗 お知らせ

- オーナー SSID、ゲスト SSID の場合は、制限を解除することができます。いったん有線で親機とパソコンを接続してクイック設定 Web を表示し、「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」 - 「Wi-Fi 詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でネットワークを選択して、「Wi-Fi 機能設定」の「ネットワーク分離機能」で「使用する」のチェックを外してください。(🔗機能詳細ガイド)
- さらにセキュリティを高めたい場合は、同一のネットワークに Wi-Fi 接続された端末との通信を制限することができます。クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」 - 「Wi-Fi 詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でネットワークを選択し、「Wi-Fi 機能設定」の「SSID 内分離 (セパレータ)」で「使用する」にチェックしてください。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を設定する

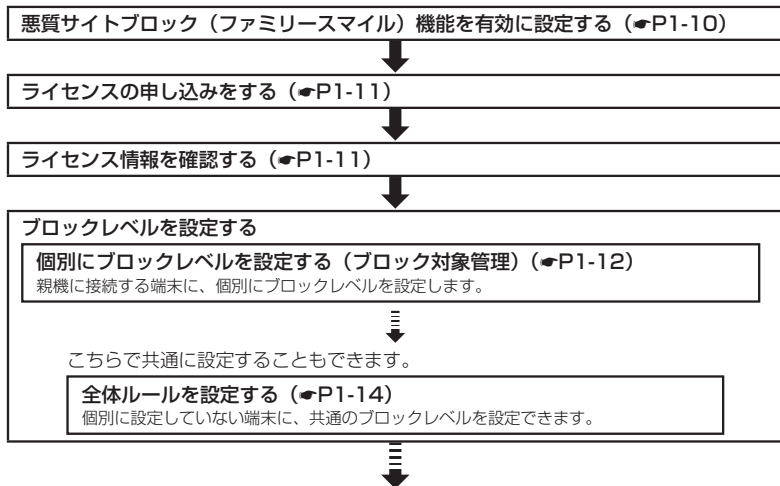
悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能は、ネットスター株式会社の提供する「悪質サイトブロック ファミリースマイル」に対応する機能です。ネットスター株式会社とライセンス契約を行い、パソコンなどのインターネット接続端末にブロックレベルを設定することで、悪質なサイトや有害なサイトの表示をブロックし、お客様やお客様のご家族をこれらの危険なサイトから守ることができます。

- ※ WG1800HP/WG1400HP を子機としてご使用になる場合は、悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能をご利用になれません。
- ※「悪質サイトブロック ファミリースマイル」は、ネットスター株式会社の提供する有償サービスです。本サービスをご利用になった結果に対して、当社は責任を負いません。
- ※「悪質サイトブロック ファミリースマイル」は、以下のような場合は無効になりますのでご注意ください。
 - ・親機がブリッジモードの場合
 - ・親機がローカルルータモードの場合で、IPv6 ブリッジ機能、VPN パススルー機能が設定されている端末
 - ・親機が PPPoE ルータモードの場合で、PPPoE ブリッジ機能、IPv6 ブリッジ機能、VPN パススルー機能が設定されている端末
 上記以外にも無効になる場合があります。P1-13の「お知らせ」に記載の一覧表をご覧ください。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能をご利用になるには、親機の設定とネットスター株式会社へのライセンスのお申し込みが必要です。

なお、親機のお客様向けに 60 日間のお試し期間が設けられています。

ご利用までの流れは以下のとおりです。



以下の設定は、必要に応じて行ってください。

ブロックレベルカスタム設定（●P1-15）

独自のブロックレベルを作成することができます。

例外サイトを登録する（●P1-16）

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外したりすることができます。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能の設定

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能をご利用になる場合は、次のように設定とライセンスの申し込みを行ってください。



お知らせ

- 本機能を設定すると、サイトにアクセスしてからページを表示するまでに時間がかかる場合があります。

悪質サイトブロック（ファミリースマイル）機能を有効に設定する

ライセンス契約の有無によらず、本機能を「使用する」に設定していないと、本サービスは利用できません。

1

クイック設定 Web を起動する（☛ <基本編> P2-5）

2

「悪質サイトブロック」－「ファミリースマイル設定」を選択する

3

「ファミリースマイル機能」の「使用する」にチェックを入れる



4

「設定」をクリックする

5

「保存」をクリックする



「ライセンスの申し込みをする」（☛P1-11）へお進みください。

ライセンスの申し込みをする

本サービスの利用にはライセンスの申し込みが必要です。以下の手順でライセンスの申し込みを行ってください。

1 クイック設定 Web を起動する（☛ <基本編> P2-5）

2 「悪質サイトブロック」－「ライセンス管理」を選択し、[お手続き画面へ]をクリックする

ネットスター株式会社のライセンス申し込みページ画面が表示されます。画面にしたがって、設定を行ってください。



☛ 「ライセンス情報を確認する」(☛ 下記)へお進みください。

ライセンス情報を確認する

ライセンス状態は、以下の手順によりいつでも確認することができます。ただし、ライセンス登録後、その情報が反映されるまで 10 分程度かかる場合があります。

1 クイック設定 Web を起動する（☛ <基本編> P2-5）

2 「悪質サイトブロック」－「ライセンス管理」を選択し、[ライセンス情報確認]をクリックしてライセンス情報を確認する

- ※ ライセンス情報が「正規ライセンス有効」と「試用ライセンス有効」の場合に悪質サイトブロック（ファミリースマイル）の機能が有効になります。
- ※ 48 時間の周期で自動的にライセンス情報を取得し、「正規ライセンス無効」または「試用ライセンス無効」の状態になると、悪質サイトブロック（ファミリースマイル）の機能が使用不可能となります。ライセンスの期限が切れた場合は、ライセンスの更新を行ってください。

☛ 「個別にブロックレベルを設定する(ブロック対象管理)」(☛ P1-12)へお進みください。

- ※ 「全体ルールを設定する」(☛ P1-14)にて、親機に接続する端末に共通の設定をすることもできます。

個別にブロックレベルを設定する（ブロック対象管理）

親機に接続する端末それぞれに、個別にブロックレベルを設定します。

※ ここで個別に設定していない端末には、「全体ルールを設定する」(●P1-14)で共通のブロックレベルを設定することもできます。

1 クイック設定 Web を起動する (● <基本編> P2-5)

2 「悪質サイトブロック」－「ブロック対象管理」を選択し、[追加] をクリックする

※ ブロック対象エントリ項目の削除方法

「ブロック対象管理 エントリ一覧」画面で表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の「削除」をクリックすることで削除できます。

3 ブロック対象となる端末のブロックレベルを設定する



プロファイル名 : 任意の文字を入力します。

※ 入力可能な文字については、設定画面上のポップアップヘルプをご覧ください。(項目名の「?」をクリックして確認できます。)

ブロック対象指定方法 : ブロック対象となる端末の指定方法を MAC アドレス、IP アドレスから選択します。(初期値: MAC アドレス)

MAC アドレス : 「ブロック対象指定方法」が「MAC アドレス」の場合、ブロック対象となる端末の MAC アドレスを入力します。
[XX:XX:XX:XX:XX:XX] 形式で入力してください

IP アドレス : 「ブロック対象指定方法」が「IP アドレス」の場合、ブロック対象となる端末の IP アドレスを入力します。

ブロックレベル : 小学生(中学年)相当/小学生(高学年)相当/中学生相当/高校生相当/インターネットあんしんコース/インターネットエキスパートコース/カスタム 1 ~ 4 /制限なしから選択します。(初期値: 小学生(中学年)相当)
※ 「カスタム 1」~「カスタム 4」は、「ブロックレベルカスタム設定」(●P1-15)にて設定した独自のブロックレベルです。

4 「設定」をクリックする

5 ブロック対象となる端末が複数ある場合は、手順 2 ~ 4 を繰り返して設定する

6

【前のページに戻る】をクリックする

【ブロック対象管理 エントリー一覧】画面に、設定した内容が表示されていることを確認します。

7

【保存】をクリックする



お知らせ

- 端末の IP アドレスが、DHCP によって別の端末に割り当てられてしまうことを防ぐため、クイック設定 Web の「詳細設定」－「DHCP 固定割当設定」で、インターネット接続端末に固有の IP アドレスを割り当てておくことをお勧めします。設定方法は、「㊟機能詳細ガイド」(P2)をご覧ください。
- 個別の端末にブロックレベルを設定する場合、親機との接続状態やブロック対象指定方法によっては、設定できない場合があります。(※ 1)
下記はその一覧です。(2013 年 2 月現在)
最新情報は、「㊟機能詳細ガイド」(P2)を参照してください。

親機との接続状態	ブロック対象指定方法	ご利用可否
有線接続 Wi-Fi 接続	MAC アドレス	○
	IP アドレス	
	MAC アドレス	○
	IP アドレス	
イーサネットコンバータ	MAC アドレス	【標準モード】 × (※ 2)
	IP アドレス	【拡張モード】 ○
(参考) PPPoE ルータ ローカルルータ	MAC アドレス	×
	IP アドレス	
	MAC アドレス	×
	IP アドレス	

(※ 1) 全体ルール設定 (P1-14) は利用可能。

(※ 2) 経由する装置（イーサネットコンバータまたはローカルルータ）のアドレスを設定すれば、接続するすべての端末で利用可能。

1

セキュリティ対策をする

全体ルールを設定する

「ブロック対象管理」(☛P1-12)で個別に設定していない端末に、共通のブロックレベルを設定することができます。

1 クイック設定 Web を起動する (☛ <基本編> P2-5)

2 「悪質サイトブロック」－「ファミリースマイル設定」を選択する

3 「全体ルール設定」で「ブロックレベル」を選択する



4 「設定」をクリックする

5 「保存」をクリックする

ブロックレベルカスタム設定

独自のブロックレベルを作成することができます。（最大 4 種類）

1

クイック設定 Web を起動する（☛ <基本編> P2-5）

2

「悪質サイトブロック」－「ブロックレベルカスタム設定」を選択する

3

ブロックレベル（カスタム 1～4）ごとに、ブロックしたいカテゴリを選択する

※既存のブロックレベルの設定内容をコピーすることができます。その場合は、設定画面上方のリストボックスで、既存のブロックレベルとコピー先を選択し、[コピー] をクリックしてください。

※ブロックレベル名は変更することができます。その場合は、見出し行に入力します。（最大半角 16 文字、全角 8 文字まで）ただし、他のブロックレベル名と同じ名前は登録できません。

4

[設定] をクリックする

5

[保存] をクリックする

1

セキュリティ対策をする

例外サイトを登録する

本サービスでブロック対象となっていないサイトの表示を制限したり、逆に、意図せずブロックされたサイトをブロック対象から外すために、そのサイトの URL を例外サイトとして登録することが可能です。

1 クイック設定 Web を起動する (☛ <基本編> P2-5)

2 「悪質サイトブロック」－【例外サイト設定】を選択し、【追加】をクリックする

※ 設定した例外サイトの削除の方法

【例外サイト設定 エントリー一覧】画面で表示されているエントリの中から、削除したいエントリの行末の【削除】をクリックすることで削除できます。

3 種別を選択し、例外サイトを入力する

種別：【許可】または【禁止】を選択します。

例外サイト：URL を入力してください。

(例) http://121ware.com/aterm/

ホスト名

パス名

※ 入力可能な文字については、設定画面上のポップアップヘルプをご覧ください。(項目名の ? をクリックして確認できます。)



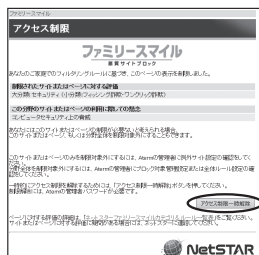
4 【設定】をクリックする

5 本機能の対象になるサイトが複数ある場合は、手順 2 ～ 4 を繰り返して設定する

6 【保存】をクリックする

ブロック画面の一時解除方法

本サービスでブロック対象のサイトにアクセスすると、ブロック画面（アクセス制限画面）が表示されます。



※画面は一例です

1

セキュリティ対策をする

【アクセス制限一時解除】をクリックして、クイック設定 Web 用のユーザ名と管理者パスワード（☛＜基本編＞P2-5）を入力すると、一時的にブロックを解除して、ブロック対象のサイトにアクセスすることができます。

※ 一時解除される時間は 30 分です。

※ 画像のみが規制されることがあります。その場合は画像に×印が表示されます。画像の一時解除はできません。

ネットスター株式会社 お問い合わせ先

「悪質サイトブロック ファミリースマイル」についての詳細は、下記 URL をご覧ください。
<http://netstar.jp/fs/>

※ E-mail のみの受け付けとなりますので、ご了承ください。
 （土日祝祭日を除く 10：00 ～ 17：00）

「悪質サイトブロック ファミリースマイル」設定前のお問い合わせについて

- ・これからこのサービスの利用をお考えのお客様のご相談
- ・本サービスの申し込み方法について
- ・本サービスの仕組みやフィルタリング機能について
- ・本サービスの提供元ネットスター株式会社について

連絡先：sales_bb@netstar-inc.com

「悪質サイトブロック ファミリースマイル」設定後のお問い合わせについて

連絡先：shop_bb@netstar-inc.com

※ 本商品に関する機能や取り扱いなどでご不明な点は、＜基本編＞P6-11 に記載の Aterm（エーターム）インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

2

便利な機能

2

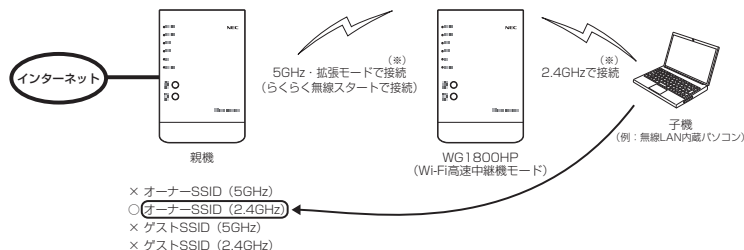
- 2-1 Wi-Fi 高速中継機モードで使用する
(WG1800HP のみ).....2-2
- 2-2 USB ポートのご利用について.....2-3
- 2-3 ECO モードにする2-16
- 2-4 その他の機能.....2-20

Wi-Fi 高速中継機モードで使用する (WG1800HP のみ)

WG1800HP の場合は、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機としても使用できます。親機と子機の通信できる距離がさらに広がります。

詳細は、「機能詳細ガイド」を参照してください。

なお、WG1800HP を中継して、子機から親機へ Wi-Fi 接続する場合は、オーナー SSID（2.4GHz）に接続してください。（他のネットワークには接続できません。）



(※) Wi-Fi 高速中継機モードを利用して Wi-Fi 接続する場合は、設定を変更できません。

設定方法

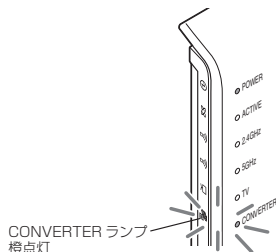
Wi-Fi 高速中継機モードの設定方法は、下記のとおりです。

1 WG1800HP を子機（CONVERTER）モードに設定する（●＜基本編＞P26）

※ クイック設定 Web の「詳細設定」で、「5GHz/2.4GHz 優先接続切替」が「5G」（初期値）、「無線クライアントモード」が「拡張モード」（初期値）に設定されている必要があります。

2 らくらく無線スタートで親機に接続する（●＜基本編＞P3-42）

Wi-Fi 高速中継機モードで動作すると、CONVERTER ランプが橙点灯します。



お知らせ

- 親機がこの機能に対応している必要があります。対応している親機は、2013年2月現在で WG1800HP/WG1400HP および WR9500N（ファームウェア：Ver.1.0.14 以上）のみです。
- 親機に同時に接続できる中継機は1台のみです。並列、多段接続はサポートしておりません。
- Wi-Fi 高速中継機モードでクイック設定 Web を起動する場合は、＜基本編＞P3-47 を参照して起動してください。
- 子機（CONVERTER）モードに戻りたい場合は、クイック設定 Web を起動し（●＜基本編＞P3-47）、「基本設定」で「Wi-Fi 高速中継機モード」の「使用する」のチェックを外して「設定」をクリックしてください。（設定後は「メンテナンス」－「再起動」で再起動してください。）

親機の USB ポートでは、接続した USB デバイスのファイルを、親機の LAN 側に接続した複数のパソコン（5 台まで）で共有したり、WAN 側から WWW ブラウザを使用して表示・操作することができます。また、USB カメラを接続して、WAN 側から WWW ブラウザで画像を表示することもできます。

※ WG1800HP/WG1400HP を子機としてご使用になる場合は、USB ポートをご利用になれません。

USB デバイスを取り付けるとき

USB デバイスを取り付ける場合は、下記のことにご注意ください。

- ・必ず装置本体を押さえて取り付けてください。
- ・コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。



お知らせ

- USB ポートで利用できる USB デバイスは、下記のみです。（2013 年 2 月現在）
 - ・ マスストレージクラスの USB デバイス
 - フォーマット形式は「FAT32」または「FAT16」。
（「FAT32」の場合、1 つのファイルの最大容量は 4GB までです。）
 - ・ UVC（USB Video Class）規格のバージョン 1.0a または 1.1 に対応した USB カメラ

お願い

- 規格外の USB デバイスを接続した場合、装置破損の恐れがありますので、ご注意ください。なお、動作確認済みの USB デバイス情報は、AtermStation でご確認ください。（動作確認済みの USB デバイス以外は、サポート対象外となります。また、USB ハブはご利用できませんのでご注意ください。）
- USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、親機から給電される電流が過電流（500mA 以上）となった場合、自動的に給電を遮断します。
復旧させるには、過電流保護状態の USB ポートから USB デバイスを取り外したあと、親機に接続したパソコンからクイック設定 Web で状態を復帰させます。操作方は、「機能詳細ガイド」（●P2）を参照してください。
- ECO モードの設定パターンを「設定 1」（初期値）または「設定 2」に設定した場合は（●P2-16）、次のことにご注意ください。
 - ・ ECO モード起動中は、USB ポートは停止されます。
 - ・ USB ポートをご利用中に ECO モードを起動しないようにしてください。（進行中のファイル操作が失敗します。）
 また、ECO モードの起動時刻を設定してある場合（●P2-18）、起動時刻になると自動的に USB ポートは停止されます。
- USB ポートに接続した USB デバイス内のファイルへアクセス中に、USB デバイスやパソコンを親機から外したり、親機の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。

アクセス方法

パソコンから USB デバイス内のファイルへは、次の手順でアクセスします。

ここでは Windows 8 の場合を主な例に説明します。

※ WWW ブラウザでアクセスしたい場合は、「USB ファイル HTTP 公開機能（ブラウザファイル共有機能）」（●P2-9）を参照してください。

1 【スタート】画面上で右クリックして【すべてのアプリ】をクリックし、【アプリ】画面にある【ファイル名を指定して実行】をクリックする

※ Windows 7/Windows Vista の場合は、【スタート】（Windows のロゴボタン）－【すべてのプログラム】－【アクセサリ】－【ファイル名を指定して実行】をクリックします。

※ Windows XP の場合は、【スタート】－【ファイル名を指定して実行】をクリックします。

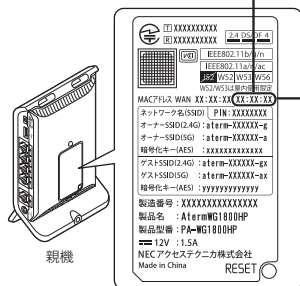
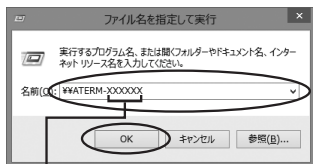
2 【名前】の欄に、「¥¥ATERM-」と親機の WAN 側 MAC アドレス下 6 桁（「:」を除く）を入力し、【OK】をクリックする

入力例：

親機の WAN 側 MAC アドレスが「00：12：34：56：78：90」の場合

¥¥ATERM-567890

※ 親機の WAN 側 MAC アドレスは、親機の側面ラベルに記載しています。



WAN 側 MAC アドレスの下 6 桁（「:」は除いてください）

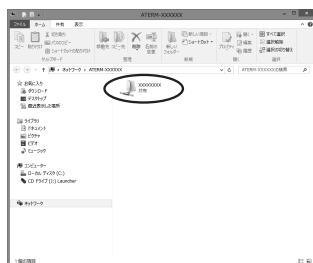
※ 親機とラベルのイラストは WG1800HP の例です。

※ 「ATERM-XXXXXX」（XXXXXX は親機の WAN 側 MAC アドレス下 6 桁）は、コンピュータ名になります。

コンピュータ名は、クイック設定 Web の【詳細設定】－【USB ストレージ設定】で変更可能です。

※ ユーザ名とパスワードによるアクセス制限をかけている場合は（●P2-5）、設定したユーザ名とパスワードを入力して【OK】をクリックしてください。（●P2-6 の①参照）

- 3 USB デバイス名が表示されるので、ダブルクリックする



- 4 USB デバイス内のファイルが表示される

アクセス権を設定する

親機の LAN 側に接続したパソコンから USB デバイス内のファイルへアクセスする際、ユーザ名・パスワード入力によるアクセス制限をかけたり、読み取り専用に設定するなどのアクセス権を設定することができます。
設定はクイック設定 Web で行います。

- 1 クイック設定 Web を起動する（☛ <基本編> P2-5）

- 2 「詳細設定」－【USB ストレージ設定】を選択する

- 3 【ファイル共有機能設定（ネットワークコンピュータ用）】の【ユーザー認証】で【使用する】にチェックを入れる



- 4 【ユーザー名】でユーザ名を入力する

※ 20 文字以内の任意の半角英数字を入力します。

ユーザ名メモ欄
(ユーザ名はこちらに控えておいてください。)

5

【パスワード】でパスワードを入力する

※ 64 文字以内の任意の半角英数字を入力します。

パスワードメモ欄 (パスワードはこちらに控えておいてください。)	
-------------------------------------	--

6

【アクセス権限】で、権限を選択する

※読み取り専用を設定する場合は [READ ONLY (読み取り専用)]、読み取り・書き込みどちらも行えるように設定する場合は [FULL ACCESS (読み書き可能)] を選択します。

7

【設定】をクリックする

8

【保存】をクリックする

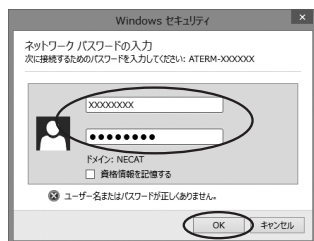
9

クイック設定 Web を閉じる



上記手順でアクセス権限を設定したあと、USB デバイス内のファイルにアクセスした場合は、右の画面が表示されます。
「ユーザー名」・「パスワード」に P2-5 の手順 4、5 で設定した値を入力して、[OK] をクリックします。

※ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合は、上記の手順で設定し直してください。

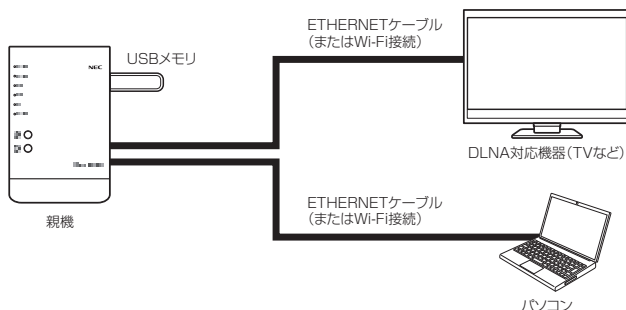


(画面は Windows 8 の場合の例です。)

メディアサーバ機能を利用してコンテンツを視聴する

親機のUSBポートに接続したUSBメモリや外付けハードディスクに保存されたコンテンツを、親機のLAN側に接続したDLNA対応機器で視聴することができます。

【利用例】



設定方法

- 1 親機のUSBポートにUSBメモリや外付けハードディスクを接続する
- 2 親機のLAN側に接続したパソコンから、親機のUSBポートにアクセスする (●P2-4)
- 3 メディアサーバ用のフォルダ「contents」に、視聴したいコンテンツを保存する
メディアサーバ用のフォルダ「contents」は、USBメモリや外付けハードディスク内に自動生成されています。
- 4 親機のLAN側に接続したDLNA対応機器でコンテンツを視聴する
コンテンツの視聴方法は、DLNA対応機器の取扱説明書などを参照してください。

お願い

- メディアサーバ機能に対応したファイル形式の最新情報は、AtermStation をご確認ください。
- 保存できるコンテンツの数は、1,000 件までとなります。
それ以上は保存できませんのでご注意ください。
- メディアサーバ機能使用中でも、ファームウェアの自動バージョンアップ機能により親機が再起動する場合があります。
- コンテンツ視聴中に USB メモリや外付けハードディスク内のファイルサーバへファイルなどのアップロードを同時にした場合、視聴映像が乱れる場合があります。



お知らせ

- 親機のメディアサーバ機能が「使用しない」に設定されていると、DLNA 対応機器でコンテンツを視聴することができません。（工場出荷状態は「使用する」に設定されています。）
クイック設定 Web の以下のメニューで、「メディアサーバ機能」を「使用する」に設定してください。

PPPoE ルータモード／ローカルルータモードの場合：

「詳細設定」－「その他の設定」－［メディアサーバ設定］

ブリッジモードの場合：

「基本設定」－「基本設定」－［メディアサーバ設定］

USB ファイルHTTP 公開機能(ブラウザファイル共有機能)

親機に接続した USB デバイス内のファイルを WWW ブラウザで表示・操作することができます。設定はクイック設定 Web で行います。

設定方法

1 クイック設定 Web を起動する (➡ <基本編> P2-5)

2 「詳細設定」 - 「USB ストレージ設定」を選択する

3 「[ファイル共有機能設定(ブラウザ用)]」の「ブラウザファイル共有機能」で「使用する」にチェックを入れる



4 「アカウント」でアカウント種別を選択する

※セキュリティを高めたい場合は、「専有アカウント」を選択し、「ユーザー名」「パスワード」を設定してください。
(64 文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、
_ (アンダースコア) が入力できます。)



5 「アクセスポート番号」でポート番号を設定する

※初期値は「15789」です。

6 「設定」をクリックする

7 「保存」をクリックする

8 クイック設定 Web を閉じる

2

便利な機能

アクセス方法

「ブラウザファイル共有機能」を設定後(☛P2-9)、親機に接続したUSBデバイス内のファイルを WWW ブラウザで表示・操作する場合は、次の手順でアクセスします。

< WAN 側からアクセスする場合 >

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザのアドレス欄に、親機の WAN 側 IP アドレスとアクセスポート番号(初期値は「15789」)を「:」(コロン)で区切って入力し、[Enter] キーを押す

例: `http://XXX.XXX.XXX.XXX:15789`

└──────────┘ └──┘
WAN 側 IP アドレス アクセスポート番号

- 親機の WAN 側 IP アドレスは、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で確認することができます。
- 親機をブリッジモードでご利用の場合は、親機の WAN 側に接続したブロードバンドルータなど (UPnP 機能: 有効) の WAN 側 IP アドレスを使用します。その場合の IP アドレスは、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」にある「インターネット経由のアクセス」の「USB ストレージ画面」に記載のアドレスになります。
- アクセスポート番号は、P2-9 の手順 5 で設定した番号です。(初期値: 15789)「15789」(初期値)から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、P2-9 の手順 4 で設定した内容によって異なります。
 - P2-9 の手順 4 で「アカウント」を初期値のまま「クイック設定 Web 用管理者 (admin) と共通アカウント」に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザ名とパスワードを入力してください。(☛ < 基本編 > P2-5、< 基本編 > P2-6)
 - P2-9 の手順 4 で「アカウント」を「専用アカウント」にしてユーザ名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

4 「USB ストレージ」画面が表示されるので、「ファイル／フォルダー一覧」からファイルをクリックしてアクセスする

＜LAN側からアクセスする場合＞

1 パソコンなどを起動する

2 WWWブラウザのアドレス欄に、「aterm.me」とアクセスポート番号（初期値は「15789」）を「:」（コロン）で区切って入力し、[Enter]キーを押す

例：http://aterm.me:15789

└──┘
アクセスポート番号

- 「aterm.me」を親機のIPアドレス（工場出荷時は192.168.10.1）にしてもアクセスできます。
- 親機をブリッジモードでご利用の場合は、「aterm.me」ではアクセスできません。親機のIPアドレス「X.Y.Z.210」を使用してください。（「X.Y.Z」は、親機が接続しているネットワークのアドレス体系です。＜基本編＞P4-19で確認してください。）
- アクセスポート番号は、P2-9の手順5で設定した番号で、初期値は「15789」です。「15789」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK]をクリックする

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、P2-9の手順4で設定した内容によって異なります。
- P2-9の手順4で[アカウント]を初期値のまま[クイック設定 Web 用管理者 (admin)]と共通アカウント]に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザー名とパスワードを入力してください。（●＜基本編＞P2-5、＜基本編＞P2-6）
- P2-9の手順4で[アカウント]を[専用アカウント]にしてユーザー名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。

4 「USBストレージ」画面が表示されるので、「ファイル／フォルダー一覧」からファイルをクリックしてアクセスする



お知らせ

- WWWブラウザで表示されたファイルの操作については、「㊦機能詳細ガイド」（●P2）を参照してください。
- 固定のURLでアクセスすることもできます。
ただし、下記のどちらかの設定が必要です。
 - ・サービスの加入とダイナミックDNS機能（●P2-24、㊦機能詳細ガイド）の設定
 - ・ホームIPロケーション機能（●＜基本編＞P6、㊦機能詳細ガイド）の設定

USB カメラ機能

親機の USB ポートに接続した USB カメラの画像を WWW ブラウザで表示することができます。設定はクイック設定 Web で行います。

お願い

●動作確認済みの USB カメラについては、AtermStation にてご確認ください。

設定方法

1 クイック設定 Web を起動する（☛ <基本編> P2-5）

2 「詳細設定」－「USB カメラ設定」を選択する

3 「USB カメラ機能」の「使用する」にチェックを入れる



4 「アカウント」でアカウント種別を選択する

※セキュリティを高めたい場合は、「専用アカウント」を選択し、「ユーザー名」「パスワード」を設定してください。
(64 文字以内で半角英数字、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) が入力できます。)



5 「アクセスポート番号」でポート番号を設定する

※初期値は「15790」です。

6 「設定」をクリックする

7 「保存」をクリックする

8 クイック設定 Web を閉じる

アクセス方法

「USBカメラ機能」を設定後(●P2-12)、親機に接続したUSBカメラの画像をWWWブラウザで表示する場合は、次の手順でアクセスします。

< WAN 側からアクセスする場合 >

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザのアドレス欄に、親機の WAN 側 IP アドレスとアクセスポート番号(初期値は「15790」)を「:」(コロン)で区切って入力し、[Enter] キーを押す

例: `http://XXX.XXX.XXX.XXX:15790`

└──────────┘ └──┘
WAN 側 IP アドレス アクセスポート番号

- 親機の WAN 側 IP アドレスは、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で確認することができます。
- 親機をブリッジモードでご利用の場合は、親機の WAN 側に接続したブロードバンドルータなど(UPnP 機能:有効)の WAN 側 IP アドレスを使用します。その場合の IP アドレスは、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」にある「インターネット経由のアクセス」の[USBカメラ画面]に記載のアドレスになります。
- アクセスポート番号は、P2-12 の手順 5 で設定した番号です。(初期値:15790)「15790」(初期値)から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、P2-12 の手順 4 で設定した内容によって異なります。
 - P2-12 の手順 4 で [アカウント] を初期値のまま [クイック設定 Web 用管理者 (admin) と共通アカウント] に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザー名とパスワードを入力してください。(●<基本編>P2-5、<基本編>P2-6)
 - P2-12 の手順 4 で [アカウント] を [専用アカウント] にしてユーザー名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。

4 「USBカメラ」画面で、[表示開始] をクリックして表示する

< LAN 側からアクセスする場合 >

1 パソコンなどを起動する

2 WWW ブラウザのアドレス欄に、「aterm.me」とアクセスポート番号（初期値は「15790」）を「:」（コロン）で区切って入力し、[Enter] キーを押す

例：http://aterm.me:15790

└──┬──┘
アクセスポート番号

- 「aterm.me」を親機の IP アドレス（工場出荷時は 192.168.10.1）にしてもアクセスできます。
- 親機をブリッジモードでご利用の場合は、「aterm.me」ではアクセスできません。親機の IP アドレス「X.Y.Z.210」を使用してください。（「X.Y.Z」は、親機が接続しているネットワークのアドレス体系です。＜基本編＞ P4-19 で確認してください。）
- アクセスポート番号は、P2-12 の手順 5 で設定した番号で、初期値は「15790」です。「15790」（初期値）から変更した場合は、設定したアクセスポート番号を入力してください。

3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、P2-12 の手順 4 で設定した内容によって異なります。
 - P2-12 の手順 4 で [アカウント] を初期値のまま [クイック設定 Web 用管理者 (admin) と共通アカウント] に設定した場合は、クイック設定 Web を起動する際のユーザー名とパスワードを入力してください。（●＜基本編＞ P2-5、＜基本編＞ P2-6）
 - P2-12 の手順 4 で [アカウント] を [専用アカウント] にしてユーザー名とパスワードを設定した場合は、設定したユーザー名とパスワードを入力してください。

4 「USB カメラ」画面で、[表示開始] をクリックして表示する



お知らせ

- WWW ブラウザで表示された画像の設定内容については、「機能詳細ガイド」（●P2）を参照してください。
- 固定の URL でアクセスすることもできます。
ただし、下記のどちらかの設定が必要です。
 - ・サービスの加入とダイナミック DNS 機能（●P2-24、機能詳細ガイド）の設定
 - ・ホーム IP ロケーション機能（●＜基本編＞ P6、機能詳細ガイド）の設定

USB デバイスを取り外すとき

USB デバイスを取り外す場合は、必ず下記の手順で USB デバイスの停止を行ってから取り外してください。

USB デバイスの停止はクイック設定 Web で行います。

1 クイック設定 Web を起動する（☛ <基本編> P2-5）

2 「情報」－【USB デバイス情報】を選択する

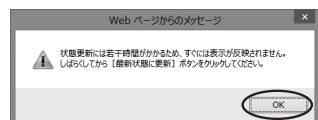
3 【最新状態に更新】をクリックする



4 停止したい USB デバイスの【停止／復帰】で、【停止】をクリックする



5 【OK】をクリックする



6 【OK】をクリックする



7 USB デバイスを取り外す

※必ず装置本体を押さえて取り外してください。

2

便利な機能

ECO モードでは、一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。
ECO モードを起動するには、親機側面の ECO ボタンを使用します。

※ WG1800HP/WG1400HP を子機としてご使用になる場合は、ECO モード機能はご利用になれません。

ECO モードでの制限内容 (ECO 設定パターン)

ECO モードには下記の設定パターンがあります。工場出荷時の状態では、「設定 1」に設定されています。変更する場合は、クイック設定 Web の「ECO モード設定」－「ECO モード設定」の「ECO 設定パターン」で設定変更してください。

※ 変更の際、通信がいったん切断される場合があります。

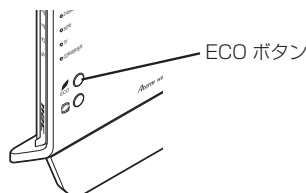
なお、下記のいずれの場合も、ECO モード起動時は POWER ランプ以外の前面・背面のランプが消灯します。

ECO 設定パターン	説明	有線 LAN	Wi-Fi	USB ポート
設定 1 (初期値)	LAN ポートの通信速度が最大 100Mbps で動作します。 (WAN ポートの通信速度は変わりません。) Wi-Fi 通信、USB ポートは利用できません。	最大 100Mbps	停止	停止
設定 2	LAN ポートの通信速度が最大 100Mbps で動作します。 (WAN ポートの通信速度は変わりません。) Wi-Fi 通信は通信速度が最大 86.7Mbps となります。 USB ポートは利用できません。	最大 100Mbps	最大 86.7Mbps (※)	停止
設定 3	LAN ポートの通信速度が最大 100Mbps で動作します。 (WAN ポートの通信速度は変わりません。) Wi-Fi 通信は通信速度が最大 86.7Mbps となります。 USB ポートがご利用になります。	最大 100Mbps	最大 86.7Mbps (※)	動作

(※) Wi-Fi 機能が「使用する」に設定されている必要があります。

ECO モードを起動する

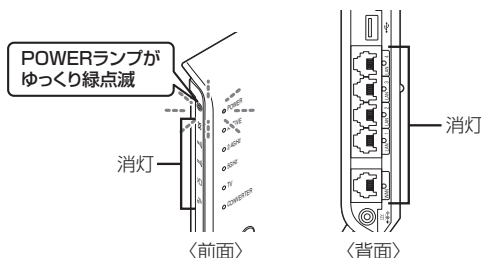
ECO モードを起動するには、親機側面の ECO ボタンを 5 秒以上押します。
(停止する場合は、再度、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。通常モードに戻ります。)



誤ってらくらくスタートボタンを押さないようご注意ください。
らくらくスタートボタンを押すと、らくらく無線スタートが起動してしまい、POWER ランプが緑点滅したあと 10 秒間赤点灯します。その後 POWER ランプが緑点灯に戻りますので、ECO モードを正しく起動してください。

ECO モード起動中のランプ状態

ECO モードでは、POWER ランプがゆっくり緑点滅し、他のランプはすべて消灯します。
(背面の WAN ランプ、LAN ランプも消灯します。)





お知らせ

- ECO モードを起動すると、LAN ポートの通信速度が変わるため、リンクが一時的に切断されます。通信中の場合はご注意ください。
- ECO ボタンは、工場出荷時で有効 (ECO モードを起動できる状態) になっています。ECO ボタンを無効にする場合は、クイック設定 Web の「ECO モード設定」－「ECO モード設定」で [ECO 機能] を [使用しない] に設定してください。
詳しくは「[ECO 機能詳細ガイド](#)」(P2) を参照してください。
- あらかじめ起動/停止時刻を設定すれば、自動的に ECO モードを起動/停止することができます。設定方法は下記のとおりです。詳細は、「[ECO 機能詳細ガイド](#)」(P2) を参照してください。

※ 設定する場合は、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「時刻設定」にある「自動時刻設定機能」を初期値のまま [自動設定] にして、インターネットに接続可能な環境でご利用ください。

- ① クイック設定 Web を起動する (●<基本編>P2-5)
- ② 「ECO モード設定」－「ECO モード設定」を選択する
- ③ [ECO 機能] で [通常 ECO] (初期値) を選択する
- ④ [ECO 設定パターン] を選択する (●P2-16)
- ⑤ [省電力型イーサネット (EEE) 機能] (●P12) を使用する場合は [使用する] にチェックを入れる (初期値: [使用しない])
- ⑥ [タイマ動作] の [使用する] にチェックを入れる
- ⑦ ECO モードの起動/停止時刻を設定する
(画面は、午前 2 時から午前 5 時まで ECO モードにする場合の例です)

- ⑧ [設定] をクリックする
- ⑨ [OK] をクリックする
- ⑩ [OK] をクリックする
- ⑪ [保存] をクリックする

- しばらく無線スタート設定時に誤って ECO ボタンを押してしまうと、ECO モードが起動し、Wi-Fi 通信が利用できなくなってしまう場合がありますのでご注意ください。(ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の前面・背面のランプは消灯します。) その場合は、再度 ECO ボタンを 5 秒以上押し、ECO モードを停止させてください。(親機の電源をいったん切って入れ直しても通常モードに戻すことができます。)

オート ECO モード機能

親機では、ある特定の機能について、その使用状況に応じて自動的に ECO モードを起動／解除することができます。

この機能を使用するには、クイック設定 Web の「ECO モード設定」－「ECO モード設定」にある「ECO 機能」で、「オート ECO」を選択し、【設定】－【保存】をクリックしてください。

なお、2013 年 2 月現在では、Wi-Fi 接続の使用状況に応じた「Wi-Fi オート ECO モード」にのみ対応しています。

< Wi-Fi オート ECO モード >

子機からの Wi-Fi 接続が一定時間（約 240 秒）以上ない場合、自動的に Wi-Fi オート ECO モードが起動し、無線回路の一部が停止されます。

※ LAN ポートおよび WAN ポートの通信速度や USB ポートの動作、ランプ状態に変更はありません。

この機能は、起動中、子機から Wi-Fi 接続された場合に、自動的に通常モードに戻ります。

なお、この機能は、2.4GHz 帯、5GHz 帯で独立して起動します。

このため、2.4GHz 帯、5GHz 帯どちらも起動中に 2.4GHz 帯の子機が Wi-Fi 接続された場合、2.4GHz 帯のみ通常モードに戻り、5GHz 帯は Wi-Fi オート ECO モードのまま動作します。

オート ECO モードの種類	説明	有線 LAN	Wi-Fi	USB ポート
Wi-Fi オート ECO モード (※)	無線回路の一部が停止されます。 LAN ポートおよび WAN ポートの通信速度、USB ポートの動作、ランプの状態に変更はありません。	通常どおり	無線回路の一部が停止	動作

(※) 2.4GHz 帯、5GHz 帯で独立して起動します。

お知らせ

- Wi-Fi オート ECO モード起動中に子機から Wi-Fi 接続する場合、無線回路の一部が停止しているため、Wi-Fi 接続しにくい場合があります。その場合は、いったん親機に近い場所で Wi-Fi 接続してください。

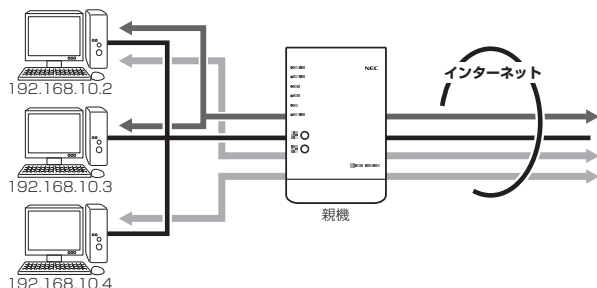
複数の接続先に接続する設定 (PPPoE マルチセッション)

PPPoE マルチセッションとは、1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。

接続先の登録数および同時接続可能セッション数は、IPv4 をご利用の場合は最大 3 箇所、IPv6 をご利用の場合は 1 箇所です。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。

同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。



IPv4 をご利用の場合、接続先は、優先する接続先（優先接続）として 1 箇所、その他の接続先として 2 箇所までを設定できます。

例：一般的なフレッツ契約では 1 回線につき 2 セッションまで許容されています。

なお、その他の接続先（優先接続以外）には、それぞれ「DNS ルーティング設定」で LAN 側から WAN 側へのパケット振り分けルールを設定します。LAN 側から WAN 側へのパケットのうち、その条件と一致するパケット（およびその応答パケット）は、条件の一致した接続先（優先接続以外）のアカウントを使って接続します。条件と一致しなかったパケット（およびその応答パケット）は、優先接続に指定した接続先のアカウントを使って接続します。

設定方法については「機能詳細ガイド」（P2）を参照してください。



お知らせ

—制限事項—

● PPPoE マルチセッションで親機の UPnP 機能（P2-23）をご利用になる場合は、UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。

UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。

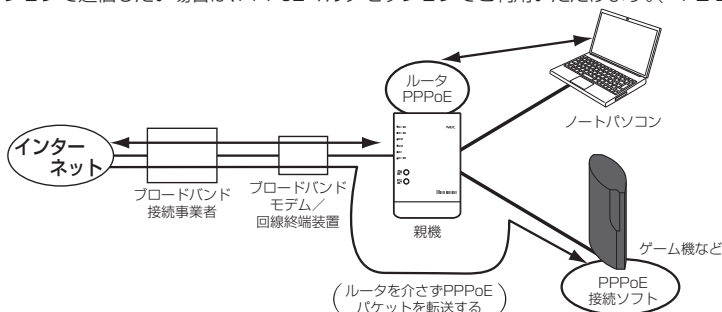
※親機の初期状態では、[接続先 1] が UPnP 機能の優先接続先になっています。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。

親機が PPPoE ルーターモードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 16 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なりますので、ご利用の接続事業者にご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。(P2-20)



■ PPPoE ブリッジ機能でできること

(1) 次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

- Windows 8 の場合
リモート デスクトップ、Windows リモート アシスタンス
- Windows 7 の場合
リモート デスクトップ、Windows リモート アシスタンス、
Windows ミーティング スペース (Windows Live からの無償ダウンロード)
- Windows Vista の場合
リモート デスクトップ、Windows リモート アシスタンス、
Windows ミーティング スペース
- Windows XP の場合
リモート デスクトップ、リモート アシスタンス

(2) PPPoE 対応のゲーム機 (「プレイステーション 3」など) を接続できます。

(3) PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、親機のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接親機に接続しているブロードバンドモデム/回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

● お願い

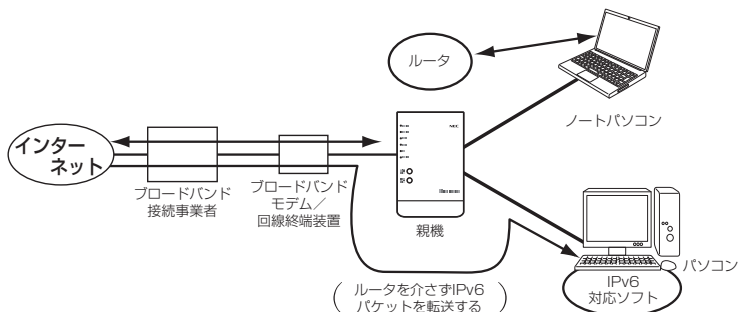
- アプリケーションの操作方法是、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

IPv6 ブリッジ機能

IPv6 (Internet Protocol Version 6) プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6 ブリッジ機能を「使用する」に設定することでご利用いただくことができます。(☛🔍機能詳細ガイド)

※ パソコン側の設定も必要となります。

※ PPPoE ルータモードの場合は、IPv6 ブリッジ機能は初期値で「使用する」に設定済みです。



お知らせ

- ブロードバンドテレビサービスを無線でご利用になりたい場合は、「🔍機能詳細ガイド」(☛P2) の「機能一覧」から「TV モード」を参照してください。



お願い

- パソコン側の設定方法は、お使いのプロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「IPv6 ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

DMZ ホスト機能

外部からのアクセスを LAN 上のあらかじめ指定したパソコンに自動的にすべて転送する機能です。Web/FTP サーバの外部公開や LAN 上へファイアウォールを設定することができます。

(☛🔍機能詳細ガイド)

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。親機とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「㊟機能詳細ガイド」(P2) を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
(㊟機能詳細ガイド)

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
(㊟機能詳細ガイド)

UPnP 機能

親機とパソコンの UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能を利用して、TV 電話などをご利用になることができます。
親機とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「㊟機能詳細ガイド」(P2) を参照してください。
ただし、親機の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。



お知らせ

- UPnP 機能は、Windows Vista、Windows 8/7/XP のパソコンでのみご利用になれます。
- フレッツ・ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジ機能を使用することで、1 台のパソコンのみで利用ができます。
- ルータタイプの ADSL モデムにローカルルータモードで接続しているときは、UPnP の機能はご利用になれません。ADSL モデムを PPPoE ブリッジモードに切り替えて親機の動作モードを PPPoE ルータモードに設定するか、ブリッジモードに設定してお使いください。

ダイナミック DNS 機能

ダイナミック DNS とは、プロバイダから割り当てられたグローバル IP アドレスが変更になった際に、新しいアドレスを各 DNS サーバに通知するサービスです。固定 IP アドレスの取得をしていなくても、固定の URL を指定することで WAN 側からのアクセスやサーバ公開が可能になります。(☛ 機能詳細ガイド)

※ 2013 年 2 月現在で、下記のサービスに対応しています。

- ・GMO インターネット株式会社が提供する「お名前.com®」
(別途提供先にてサービスのご契約と設定が必要です。)
- ・BIGLOBE が提供する「ダイナミック DNS サービス」
(別途提供先にてサービスのご契約が必要です。)

GMO インターネット株式会社 お問い合わせ先

「お名前.com® ダイナミック DNS サービス」は、GMO インターネット株式会社が運営する「お名前.com® ドメイン登録サービス」のオプションです。詳細は、下記 URL をご覧ください。

<お名前.com® レンタル DNS レコード設定 (ダイナミック DNS 機能) >
<http://www.onamae.com/option/dnsrecord/>

※ 製品には、すでにクライアント機能が実装されていますので、パソコンに「ダイナミッククライアントソフト」をインストールする必要はございません。

「お名前.com® ダイナミック DNS サービス」へのお問い合わせについて

- ・本サービスのご利用をお考えのお客様のご相談
- ・本サービスの申し込み方法について
- ・本サービスの技術的な内容について など

お電話 : 03-5456-2560

受付時間 :

技術サポート窓口.....年中無休 24 時間

事務手続きご案内/新規ご相談窓口.....平日 10:00 ~ 19:00

※ お電話以外のお問い合わせ (E-mail、チャット) は、下記 URL をご覧ください。
<https://www.onamae.com/support/contact/>

NEC ビッグロブ株式会社 お問い合わせ先

「BIGLOBE ダイナミック DNS Service」についての詳細は、下記 URL をご覧ください。

<http://ddns.biglobe.ne.jp/>

「BIGLOBE ダイナミック DNS Service」についてのお問い合わせは、ホームページからお問い合わせください。

<ホームページからのお問い合わせ方法>

BIGLOBE ホームページ (<http://www.biglobe.ne.jp/>) → 「会員サポート」 → 「お問い合わせ」にある「ホームページから問い合わせる」にて、問い合わせたい項目を選択してください。

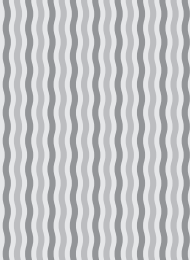
LAN 側ジャンボフレーム透過機能

LAN ポートに接続される機器間での伝送速度が 1000Mbps の場合、データの送受信単位（フレーム）のサイズを大きくすることで、LAN ポート間の対向通信を効率よく行うことができます。

設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。

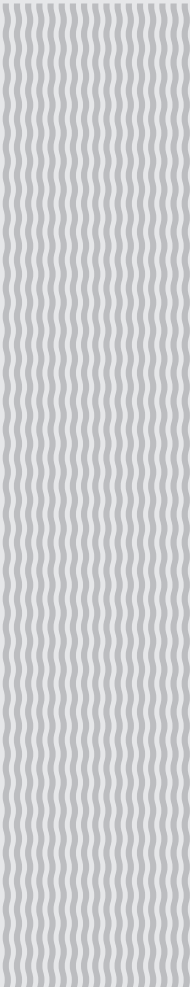
対向通信するすべての機器がジャンボフレームに対応している必要があります。

なお、Wi-Fi 接続や WAN ポート（インターネット）との転送ではご利用になれません。通常は、初期値（「使用しない」）のままご使用ください。



3

トラブルシューティング



3

3-1 トラブルシューティング.....3-2

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

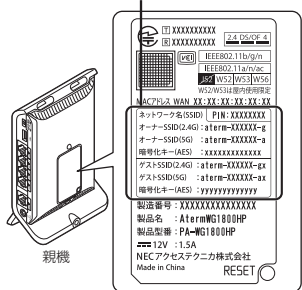
※ 本書の他に、「㊟機能詳細ガイド」(P2)の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。

該当項目がない場合や、対処をしてもトラブルが解決しない場合は、本商品を初期化し(●<基本編>P5-10)、はじめから設定し直してみてください。

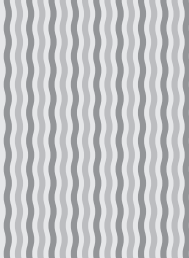
※ 初期化すると、本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますので、ご注意ください。なお、初期化する前にクイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同設定画面にて復元することができます。(㊟機能詳細ガイド)

症 状	原因と対策
時々通信が切れる	● ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続する場合はノイズ環境により左右されます。
途中から通信速度が遅くなった	
通信が切断されることがある	
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.10.XXX は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 < IP アドレスの再取得 > < Windows Vista および Windows 8/7 の場合 > [スタート] 画面上で右クリックして [すべてのアプリ] をクリックし、[アプリ] 画面にある [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ※ Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) － [すべてのプログラム] － [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする [ipconfig /release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する [ipconfig /renew] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す - IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」(*) になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < Windows XP の場合 > [スタート] － [すべてのプログラム] (または [プログラム]) － [アクセサリ] － [コマンドプロンプト] をクリックする [ipconfig /release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する [ipconfig /renew] を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す - IP アドレス (IP Address) が「192.168.10.XXX」(*) になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

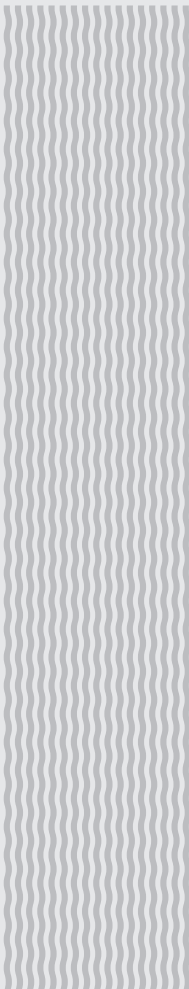
症 状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.10.XXX は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された (続き)	< Mac OS X または OS X の場合 > 以下は OS X v10.8 の場合の例です。 ① アップルメニューの「システム環境設定」を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [Ethernet] を選択する (親機に Wi-Fi 接続している場合は [Wi-Fi] を選択する) ③ [詳細] をクリックする ④ [TCP/IP] タブをクリックする ⑤ [DHCP リースを更新] をクリックする ⑥ IPv4 アドレスが「192.168.10.XXX」(*)になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) ⑦ [OK] をクリックする < iOS の場合 > 以下は iOS 6.0 の場合の例です。 ① [ホーム] 画面の「設定」アイコンをタップする ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③ 「ワイヤレスネットワークを選択...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある [>] ボタンをタップする ④ [DHCP リースを更新] をタップする ⑤ [DHCP リースを更新しますか?] をタップする (※) らくらくネットスタートで、ローカルルータモードを認識した場合、親機が接続されているネットワークが 192.168.10.XXX の場合、LAN 側の IP アドレスを「192.168.11.XXX」に変更します。なおサブネットマスクは補正されません。(255.255.255.0 固定) その場合は、IPv4 アドレスまたは IP アドレス (IP Address) が「192.168.11.XXX」になることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE ルータモード、ローカルルータモード共通)	● パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも親機の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、<基本編> P2-4 の「IP アドレスの確認方法」を参照してパソコンの IP アドレスを確認する b. 前ページの「IP アドレスの再取得」を行う
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE ルータモードの場合)	● ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ● ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない (ローカルルータモードの場合)	● ブロードバンドモデム/回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ● ブロードバンドモデム/回線終端装置と親機の電源投入順序によっては親機の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがあります。クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で [IP 解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを更新してください。
親機が正常に動作しないが、原因がわからない	● 設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

症 状	原因と対策
接続する Wi-Fi 動作モードのネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった	● LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」で確認してください。(㊟機能詳細ガイド) ● 親機側面の RESET スイッチによる初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください。(㊟＜基本編＞ P5-11) 出荷時のネットワーク名 (SSID) の設定は親機の側面に記載されています。 工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー  側面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にオーナー SSID、下段にゲスト SSID の Wi-Fi 設定内容 (2.4GHz・5GHz 別の SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。なお、ゲスト SSID に接続するには、Wi-Fi 機能を有効に設定する必要があります。 ※ 親機とラベルのイラストは WG1800HP の例です。
接続する Wi-Fi 動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	● LAN ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で設定を確認してください。(㊟機能詳細ガイド) ● 親機側面の RESET スイッチによる初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください。(㊟＜基本編＞ P5-11) 出荷時のネットワーク名 (SSID) の設定は親機の側面に記載されています。(㊟上記)
Wi-Fi 接続の状態が良好なのに通信できない	● < IP アドレスの再取得 > (㊟ P3-2) を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 ● 固定 IP アドレスでお使いの場合は、親機と子機に接続しているパソコンのネットワークのアドレス体系を一致させてください。(例：親機が 192.168.10.1 のとき、子機は 192.168.10.XXX) ● 他の LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。
Wi-Fi 接続の状態が良好なのに速度がでない	● 近くに隣接するチャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 → クイック設定 Web を起動して「Wi-Fi (無線 LAN) 設定」－「Wi-Fi 詳細設定」の「Wi-Fi 機能設定」の「オートチャネルセレクト機能」で「使用する」のチェックを外し、「使用チャネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の Wi-Fi 機器が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。 → WG1800HP を Wi-Fi 高速中継機モードでご使用の場合は (㊟ P11、P2-2)、チャネル変更はできません。その場合、再起動することでオートチャネル機能により状態が改善することがあります。 ● 親機と子機が近すぎる → 1m 以上離してください。

症 状	原因と対策
子 機 WG1800HP/WG1400HP を利用して、AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛んだりする	●Wi-Fi 接続の状態が悪い（親機との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となる場所に移動してください。 ●電波干渉がある →チャンネルを確認して、別のチャンネルに変更してください。（●P3-4） ●AV サーバのレートを下品質に下げてください。
無線 LAN プリンタで印刷できない	●無線 LAN プリンタを共有したい場合は、無線 LAN 内蔵パソコンと同一のネットワーク名（SSID）に接続してください。
USB ポートが利用できない	●ECO モード起動中は、ECO 設定パターンによっては USB ポートが利用できなくなる場合があります。 USB ポートをご利用になる場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押して、ECO モードを停止し、他の ECO 設定パターンを選択してください。（●P2-16） ●USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、親機から給電される電流が過電流（500mA 以上）となった場合、自動的に給電を遮断します。復旧させるには、過電流保護状態の USB ポートから USB デバイスを取り外したあと、親機に接続したパソコンからクイック設定 Web で状態を復帰させます。操作方法は「機能詳細ガイド」（●P2）を参照してください。 ●子機（CONVERTER）モードで動作している →子機 WG1800HP/WG1400HP では、USB ポートをご利用になれません。
TV ランプが点灯しない	●親機が TV モードになっていない →親機は、下記いずれかの場合に TV モードとなり、TV ランプが点灯します。 ・クイック設定 Web の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で、[TV モード] を「使用する」に設定した場合 ・クイック設定 Web の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定」で、[TV モード] を「自動」に設定したうえで、TV モードに対応した機器と Wi-Fi 接続した場合 ・子機 WG1800HP/WG1400HP または WL300NE-AG と 5GHz かつ拡張モードで Wi-Fi 接続した場合
TV の画像が途切れる	●TV を見るための十分なスルーブットが得られていない →親機と子機を近づけてみてください。
親機のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・クイック設定 Web の「情報」－[現在の状態] の [ファームウェアバージョン]



4



付録

4

- 4-1 マニュアルで使用している用語について…4-2
- 4-2 別売りオプション……………4-4
- 4-3 索引……………4-5

本商品のマニュアルで使用している用語について解説します。
別名で呼ばれている場合もありますので、その例も記載しています。

※用語は、あいうえお順／アルファベット順で並んでいます。

マニュアルで 使用している用語	説明	別名例
暗号化キー	Wi-Fi セキュリティを高めるための暗号化を行う鍵のこと。	セキュリティキー パスフレーズ ネットワークキー パスワード WEP キー
親機	無線 LAN アクセスポイントのこと。 無線 LAN アクセスポイントとは、無線 LAN 端末を接続するための電波を中継する機器を指す。 本商品 WG1800HP/WG1400HP は、ルータ機能を搭載した無線 LAN アクセスポイント。	無線 LAN アクセスポイント 無線 LAN 親機 WARPSTAR ベース
子機	無線 LAN 端末のこと。 パソコンに装着して Wi-Fi 接続機能を提供するアダプタや、Wi-Fi 接続機能を内蔵したパソコンなどの端末を指す。 子機 (CONVERTER) モードの WG1800HP/WG1400HP も該当する。	無線 LAN 端末 無線 LAN 子機 WARPSTAR サテライト
回線終端装置	ADSL や FTTH、CATV など広帯域で高速な通信を提供する回線・サービスに接続するために、コンピュータの信号と回線の信号を通信可能な信号に変換する装置。	FTTH 回線終端装置
ブロードバンド モデム		ADSL モデム CATV ケーブルモデム
プロトコル	通信規約。システム (コンピュータやネットワーク) 同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。	
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。	
CATV	Cable Television の略。ケーブルテレビ。 従来のテレビのようにアンテナで電波を受信するのではなく、通信ケーブルに映像／音声をのせるテレビ放送。	
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 コンピュータを TCP/IP ネットワークに接続する際に、IP アドレスなど必要な情報を自動的に割り振る方法。 DHCP クライアント機能は WAN 側から IP アドレスを自動的に取得する機能で、DHCP サーバ機能は LAN 側のパソコンに自動的に IP アドレスを割り当てる機能。	
DNS	Domain Name System の略。 ドメイン名と IP アドレスを関連付けているシステム。これによりドメイン名で宛先指定しても通信可能となる。	

マニュアルで 使用している用語	説明	別名例
ESS-ID ステルス 機能 (SSID の隠蔽)	Wi-Fi 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (SSID) がある。このネットワーク名 (SSID) が一致しないと Wi-Fi 通信ができない。一般にネットワーク名 (SSID) は検索することができるが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができる。	ANY プローブ応答禁止 SSID の隠蔽
FTTH	Fiber To The Home の略で、光ファイバーを利用して超高速の通信環境を提供するサービス。	
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する (例: 192.168.10.10)。	
LAN	Local Area Network の略。 本書では、本商品の宅内側 (パソコンなどを接続している側) を LAN 側と呼ぶ。	
PPPoE	PPP over ETHERNET の略。ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。ETHERNET 上でダイヤルアップ接続 (PPP 接続) と同じように利用者のユーザ名やパスワードのチェックを行う。	
UPnP	Universal Plug and Play (ユニバーサルプラグアンドプレイ) の略で、XML 技術をベースに開発された、ネットワーク機器どうしの相互自動認識方式。 ユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) とは、デバイスのプラグアンドプレイ (PnP) 機能をネットワークに拡張したもので、パソコンからルータなどのネットワーク・デバイスやサービスの検出と制御を可能にする。	
WAN	Wide Area Network の略。 本書では、本商品のインターネット側 (インターネットに接続している回線側) を WAN 側と呼ぶ。	
Wi-Fi	Wi-Fi 機器の相互接続性を、米国の業界団体 Wi-Fi Alliance が認証したことを示す名称。 本書では無線 LAN のことを示す。無線 LAN とは、無線を使用した LAN のことで、規格として、「Draft IEEE802.11ac」「IEEE802.11n」「IEEE802.11a」「IEEE802.11g」「IEEE802.11b」などがある。	無線 LAN ワイヤレス LAN

オプションとして次の製品を別売りしています。(2013年2月現在)

■ USB スティック子機 (USB2.0)

AtermWL450NU-AG (PA-WL450NU/AG)

AtermWL300NU-GS (PA-WL300NU/GS)

AtermWL300NU-AG (PA-WL300NU/AG)

パソコンの USB ポートに接続して使用します。

■ イーサネットコンバータ

AtermWR9500N (PA-WR9500N-HP) ※

※ 無線 LAN 子機 (CONVERTER) モードでご利用ください。

AtermWL300NE-AG (PA-WL300NE/AG)

パソコンと ETHERNET ケーブルで接続して使用します。



お知らせ

- オプション品は、お近くの販売店の他、オンラインショップ Shop@Aterm (<http://shop.aterm.jp/>) でもご購入いただけます。
- ご利用いただける無線 LAN 通信規格は、子機によって異なります。
- 本商品に接続できる子機については、AtermStation の [サポートデスク] - [動作検証情報] にてご確認ください。

マークの付いた項目については、下記を参照してください。

- ・☞:「取扱説明書<基本編>」(冊子)
- ・①:「つなぎかたガイド」
- ・☺:「機能詳細ガイド」

[数字]

- 1000BASE-T/100BASE-TX/
10BASE-Te 対応スイッチング HUB
(4ポート)……………☞
- 2.4GHz ランプ ……☞ 27、☞ 28、☞ 30
- 5GHz ランプ ……☞ 27、☞ 29、☞ 31

[A～Z]

- ACTIVE ランプ ……☞ 27、☞ 28、☞ 30
- AC アダプタ接続コネクタ……………☞ 33
- AES……………1-4
- AtermStation……………☞ 6-11
- CD-ROM……………☞ 22
- CONVERTER ランプ
……………☞ 27、☞ 29、☞ 31
- DHCP クライアント……………4-2
- DHCP 固定割当設定……………☞
- DHCP サーバ機能……………☞ 3-47、☞
- DHCP 除外設定……………☞
- DMZ ホスト機能……………2-22、☞
- DNS フォワーディング……………☞
- DNS ルーティング……………☞
- Draft IEEE802.11ac 通信……………☞
- ECO 設定パターン……………2-16
- ECO ボタン
……………2-17、☞ 27、☞ 30、☞ 32
- ECO モード……………2-16、☞
- ESS-ID ステルス機能
(SSID の隠蔽)……………1-5、4-3、☞
- IEEE802.11a 通信……………☞
- IEEE802.11b 通信……………☞
- IEEE802.11g 通信……………☞
- IEEE802.11n 通信……………☞
- IPv6 ブリッジ機能……………2-22、☞
- IP パケットフィルタリング……………2-23、☞
- JavaScript……………☞ 40
- LAN 側ジャンプフレーム透過機能
……………2-25、☞
- LAN ポート……………☞ 33

- LAN ランプ……………☞ 33
- MAC アドレス
～フィルタリング機能……………1-6、☞
- PIN 方式……………☞ 3-14
- POWER ランプ ……☞ 27、☞ 28、☞ 30
- PPPoE ブリッジ……………2-21、☞
- PPPoE マルチセッション……………2-20、☞
- PPPoE ルータモード……………☞ 24
- PPP キーブアライブ……………☞
- RESET スイッチ
…☞ 33、☞ 34、☞ 5-11、☞ 5-13
- RT/BR/CNV モード切替スイッチ
……………☞ 33、☞ 2-13
- SSID の隠蔽……………4-3
- TKIP……………1-4
- TV 電話……………14、2-23
- TV モード……………11、☞
- TV ランプ……………☞ 27、☞ 29、☞ 31
- UPnP 機能……………2-23、☞
- USB カメラ機能……………2-12
- USB ファイル HTTP 公開機能
(ブラウザファイル共有機能)
……………2-9、☞
- USB ポート……………2-3、☞ 33、☞
- VPN パススルー機能……………2-23、☞
- WAN 側機能……………☞ 33
- WAN ポート……………☞ 33
- WAN ランプ……………☞ 33、☞ 34
- WEP……………1-4、☞
- WEP キー……………4-2
- Wi-Fi……………4-3
- Wi-Fi 高速中継機モード……………2-2、☞
- Wi-Fi セキュリティ……………1-2、☞
- Wi-Fi 通信……………8、9
- WoL (Wake on LAN) 機能……………13、☞
- WPS 機能……………10、☞ 3-12、☞
- WG1800HP/WG1400HP……………☞ 6-2
- WWW ブラウザの設定……………☞ 39

【ア行】

悪質サイトブロック (ファミリースマイル)	
機能	1-9、
アドバンスド NAT	
(IP マスカレード /NAPT)	
暗号化	1-4、
安全にお使いいただくために	
必ずお読みください	10
インターネット接続先の登録	2-10
オート ECO モード機能	2-19、
オートチャネルセレクト機能	9、
置き場所を決める	1-2
親機	4-2

【カ行】

外部にサーバを公開する	
各部の名称とはたらき	27
管理者パスワードの変更	
機能一覧	6
「機能詳細ガイド」目次	6
強制ブリッジ (BR) モード	
クイック設定 Web	2-3、
～で初期化する	5-10、5-12
～の起動のしかた	2-5、3-47
～の使いかた	2-3
クワッドチャネル機能	9、
ゲーム機を接続する	10、3-5
子機	4-2
～WG1800HP/WG1400HP を設定	
する	3-42
個別にブロックレベルを設定する	
(ブロック対象管理)	1-12

【サ行】

時刻設定	
情報表示 (装置情報、状態表示)	
初期化	5-10
静的ルーティング	
製品仕様	6-2
セキュリティ対策	1-2

接続する

Wi-Fi 対応のゲーム機から	3-5
Wi-Fi で iPad/iPhone/iPod touch	
から	3-7
設置する	1-2
壁掛けの場合	1-6
縦置きの場合	1-4
横置きの場合	1-5
設置に関するトラブル	4-2
設定	
Wi-Fi を	3-1
親機を	2-1
子機 (CONVERTER) モードの	
	26
ブリッジモードに	2-13
設定値の初期化	5-10
全体ルールを設定する	1-14
ソフトウェアのご使用条件	8

【タ行】

ダイナミック DNS 機能	2-24、
ダイナミックポートコントロール (SPI)	
通信確認 (疎通確認テスト)	
通信情報ログ (アクセスログ機能)	
停止	
ルータ機能を	2-13
できること	7
デュアルチャネル機能	9、
トラブルシューティング	3-2、4-2

【ナ行】

ネットマスク	2-11、2-12
ネットワークゲーム	14
ネットワーク対応アプリケーション	
ネットワーク分離機能	1-8、
ネットワーク名 (SSID)	3-2、

【ハ行】

- バージョンアップ…………… 5-2
 はじめに (マニュアル構成)…………… 2
 パソコンインタフェース…………… 36
 パソコンのネットワークの確認…………… 36
 ファームウェア更新
 …………… 5-2、5-6、
 ファイアウォール
 …… 35、4-4、4-8、4-17
 ファイルとプリンタの共有……………
 ブリッジモード
 …………… 24、2-6、2-9、
 2-12、2-13、
 ブロードバンドルータ機能……………
 ブロック画面の一時解除方法…………… 1-17
 ブロックレベルカスタム設定…………… 1-15
 プロバイダ…………… 13、35
 別売りオプション…………… 4-4
 ポートマッピング…………… 2-23、
 ホーム IP ロケーション機能のご使用条件
 …………… 6
 ポップアップヘルプ…………… 2-7
 本商品の動作モードについて…………… 24

【マ行】

- マルチ SSID…………… 3-3、
 無線 LAN アクセスポイント…………… 4-2
 無線 LAN 端末…………… 4-2
 メディアサーバ機能…………… 2-7、
 メンテナンスバージョンアップ機能
 機器情報の扱いについて…………… 5
 ～の停止方法…………… 5-14
 目次…………… 4

【ヤ行】

- ユーティリティに関するトラブル
 …………… 4-15

【ラ行】

- らくらく QR スタート…………… 3-9
 らくらく Web ウィザード
 ～で設定する…………… 2-8
 らくらくスタートボタン
 …………… 27、30、32、
 らくらくネットスタート……………、
 らくらく無線スタート
 …………… 3-11、3-42、
 らくらく無線スタート EX
 …………… 3-11、
 ランプ表示…………… 27、30
 ルータ機能……………
 例外サイト…………… 1-16
 ローカルルータモード…………… 24

【ワ行】

- ワイヤレスネットワーク接続…………… 3-18

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みにになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

NECプラットフォームズ株式会社

AtermWG1800HP/WG1400HP 取扱説明書<機能編> 第2版

AM1-002207-002
2014年7月

